

第 15 号議案

令和 8 年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項について

令和 8 年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項を次のとおり定める。

令和 7 年 6 月 11 日

滋賀県教育委員会

別紙のとおり

令和8年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項について

滋賀県立高等学校
入学者選抜 Web ページ
二次元コード



令和8年度入学者選抜より、新制度に基づいた入学者選抜を実施します。

- 昨年度まで2月と3月の2回に分けて実施していた選抜を一本化し、入試期間を短縮します。
- 全日制高等学校および定時制高等学校の受検者全員が学力検査を受検します。
- 各高等学校のスクール・ポリシーに基づき、多面的な観点から資質や能力を評価する学校独自型選抜（自己推薦、中学校長推薦）を実施します。
- Web 出願システムを導入し、出願から入学許可予定者の発表までの流れをデジタル化します。

【入学者選抜について】

- 一般型選抜 主として志願者の学力を評価します。学力検査(5教科)を全員が受検します。
- 学校独自型選抜 学力をみる検査だけでは測れない資質・能力を多面的に評価します。希望者が受検します。検査は、作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査等から1つ以上を課します。自己推薦と中学校長推薦があり、各高等学校が自校の特色に応じて実施します。

【全日制の課程、定時制の課程】 ※Web 出願

一次募集	「一般型選抜」と「学校独自型選抜」を実施します。	
	一次募集の主な日程	令和8年2月25日(水) 一般型選抜(学力検査) 2月26日(木) 学校独自型選抜(学校独自検査) 3月1日(日) 追検査(学力検査) 3月2日(月) 追検査(学校独自検査) 3月9日(月) 入学許可予定者の発表
二次募集	一次募集において、入学許可予定者数が募集定員に満たなかった学校、学科(科)で実施します。 ・一次募集を受検し、不合格となった者を対象とします。学力検査の結果を参考資料とします。 ・面接、作文を全員に課します。一次募集で実技検査を課した学校は、実技検査を課す場合があります。	
	二次募集の主な日程	令和8年3月16日(月) 二次募集検査 3月18日(水) 入学許可予定者の発表

【全国募集について】

信楽高等学校(総合学科)、伊香高等学校(森の探究科)、虎姫高等学校(普通科)が実施します。

信楽高等学校 伊香高等学校	紙による 出願	学校独自型選抜において5名以内	令和8年1月31日(土) 学校独自型選抜(学校独自検査) 2月4日(水) 追検査(学校独自検査) 2月5日(木) 入学許可予定者の通知
虎姫高等学校	Web出願	一次募集において国際バカロレア DP(ディプロマプログラム)で学ぶことを希望する者5名以内	令和8年2月25日(水) 一般型選抜(学力検査) 2月26日(木) 学校独自型選抜(学校独自検査) 3月1日(日) 追検査(学力検査) 3月2日(月) 追検査(学校独自検査) 3月9日(月) 入学許可予定者の発表

【通信制の課程】 ※紙による出願

大津清陵高等学校が実施します。学力検査は実施せず、面接を行います。

一次募集	募集期間：令和8年3月5日(木)～3月9日(月) ※3月7日(土)を除く 発表：令和8年3月12日(木) 大津清陵高等学校Web ページにて
二次募集	募集期間：令和8年3月15日(日)、3月18日(水) 発表：令和8年3月19日(木) 大津清陵高等学校Web ページにて

令和7年(2025年)6月11日
6月定例教育委員会
第15号議案

令和8年度(2026年度)

滋賀県立高等学校入学者選抜要項

滋賀県教育委員会

令和8年度滋賀県立高等学校入学者選抜の主な日程

【出願準備】

志願者基本情報一括登録 令和7年11月14日(金)～令和7年12月12日(金)
 志願者基本情報確認・入力 令和7年12月13日(土)～令和8年1月23日(金)

月日	曜	特別出願許可申請期間(来庁受付)			全日制・定時制	大津清陵高等学校	
		全日制・定時制	通信制	昼間(転編入)	一次募集・二次募集	通信制	昼間(転編入)
1月19日	月	一次募集受付(1/15～)			志願者基本情報確認・入力(12/13～)		
1月20日	火						
1月21日	水						
1月22日	木						
1月23日	金						
1月24日	土						
1月25日	日						
1月26日	月						
1月27日	火				↑一次募集出願(9:00～)		
1月28日	水						
1月29日	木						
1月30日	金						
1月31日	土						
2月1日	日						
2月2日	月						
2月3日	火						
2月4日	水						
2月5日	木				↓一次募集出願終了(12:00)		
2月6日	金	↑出願変更再申請	↑通信制	↑転編入	↑一次募集出願変更(9:00～)		
2月7日	土						
2月8日	日						
2月9日	月						
2月10日	火						
2月11日	水						
2月12日	木						
2月13日	金				↓一次募集出願変更終了(12:00) ↑入学審査手数料の納付(13:00～)		
2月14日	土						
2月15日	日						
2月16日	月						
2月17日	火				↓入学審査手数料の納付〆切(12:00)		
2月18日	水				受検番号採番		
2月19日	木				↑受検票の印刷(9:00～)		
2月20日	金						
2月21日	土						
2月22日	日						
2月23日	月						
2月24日	火						
2月25日	水				一次募集学力検査		
2月26日	木				一次募集学校独自検査		
2月27日	金						
2月28日	土						
3月1日	日				追検査(学力検査)		
3月2日	月				追検査(学校独自検査)		
3月3日	火						
3月4日	水						
3月5日	木						↑一次募集
3月6日	金						
3月7日	土						
3月8日	日						
3月9日	月	↑二次募集			↑二次募集出願(9:00～)	入学許可予定者発表(一次募集発表)	↓(16:00)
3月10日	火		↑二次募集				↑募集
3月11日	水				↓二次募集出願終了(12:00) ↑入学審査手数料の納付(13:00～)		
3月12日	木			↓(12:00)	↓入学審査手数料の納付〆切(12:00) 受検番号採番	入学許可予定者発表	↓(16:00)
3月13日	金				↑受検票の印刷(9:00～)		
3月14日	土						
3月15日	日						↑二次募集
3月16日	月				二次募集検査		
3月17日	火						学力検査
3月18日	水			↓(12:00)	入学許可予定者発表(二次募集発表)		↓(16:00)
3月19日	木					二次募集発表	入学許可予定者発表

目 次

I 全日制の課程における入学者選抜	
第1 一次募集	1
第2 二次募集	7
II 定時制の課程における入学者選抜	
第1 一次募集	9
第2 二次募集	15
III 通信制の課程（大津清陵高等学校）における入学者選抜	
第1 一次募集	17
第2 二次募集	18
IV 全国募集に係る入学者選抜	
第1 全国募集	19
第2 信楽高等学校・伊香高等学校の入学者選抜について	20
第3 虎姫高等学校の入学者選抜について	22
V 中高一貫教育に係る併設型高等学校の特例	24
VI 転入学・編入学（大津清陵高等学校 昼間部）	25
[別紙] 出願必要書類	27
[別添] 高等学校別入学者選抜概要	28

令和8年度滋賀県立高等学校入学者選抜要項

令和8年度における滋賀県立高等学校（以下「県立高等学校」という。）の全日制の課程、定時制の課程、通信制の課程および全国募集に係る入学者の選抜は、この要項に定めるところにより実施する。

I 全日制の課程における入学者選抜

選抜は、「一次募集」と「二次募集」により行うものとする。

第1 一次募集

一次募集においては、原則として全ての学校、学科（科）が「一般型選抜」と「学校独自型選抜」を実施するものとし、全ての入学志願者（以下「志願者」という。）が学力検査を受検するものとする。

一般型選抜は、主として志願者の学力を評価するものとする。学校独自型選抜は、学力をみる検査だけでは測れない資質・能力を多面的に評価するものとし、学校、学科（科）の特色に応じた方法を組み合わせて実施するものとする。

学校独自型選抜は、自己推薦と中学校長推薦の2種類から各高等学校が自校の特色に応じ、選択して実施することができる。

1 募集

(1) 募集定員

募集定員は、別に定める。

(2) 募集枠および募集人数

一般型選抜および学校独自型選抜における募集枠および募集人数は、各高等学校が作成する別添「高等学校別入学者選抜概要」に基づき、滋賀県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）が定めるものとする。

(3) 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

ア 令和8年3月に中学校、義務教育学校もしくはこれに準ずる学校または中等教育学校の前期課程（以下「中学校等」という。）を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者、または修了した者

ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

(4) 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件

ア 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件は、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。

イ 中学校長推薦において出願できる者は、(3)アに該当し、出願する県立高等学校（以下「出願先高等学校」という。）が示す、学校、学科（科）の推薦要件に適する者で、中学校等の校長（以下「中学校長」という。）の推薦を受けた者とする。

ウ 自己推薦において出願できる者は、出願先高等学校が示す、学校、学科（科）の出願要件を満たす者とする。

2 出願

(1) 出願

ア 志願者は、県立学校の管理運営等に関する規則（以下、「管理運営等規則」という。）第11条第2項の規定に基づき、その保護者等（親権者または未成年後見人をいう。）が県内に居住するときは、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

イ 志願者の保護者等が県外に居住するときは、管理運営等規則第11条の3の規定に基づく許可を受けた者に限り、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、一般型選抜にあつては、出願先高等学校の同一の課程に2以上の学科（科）が置かれ、一般型選抜の募集枠がある場合、これを第2志望または第3志望とすることができる。

エ 次に掲げる県立高等学校の一般型選抜にあつては、ウの規定によらず、当該県立高等学校に設置する二つの学科（科）を区別せずに出願（学校出願）できるものとし、二つの学科（科）の両方またはいずれかを志望することができる。

膳所高等学校、米原高等学校、草津東高等学校、高島高等学校および守山北高等学校

オ 志願者は、学校独自型選抜と一般型選抜の双方に出願することができる。このことを「併願」という。また、一般型選抜にのみ出願することを「専願」という。併願する場合は、学校独自型選抜で志願する学校、学科（科）と、一般型選抜の第一希望の学校、学科（科）は同一のものとする。ただし、学校独自型選抜でその定員の全てを募集する学科（科）には、学校独自型選抜でのみ出願することができる。

カ 自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する学校、学科（科）に出願する場合、志願者は、自己推薦と中学校長推薦のどちらか一方にのみ出願することができる。

(2) 期間

期間は、表1-1のとおりとする。

表1-1 出願手続の内容および期間

出願手続		期間
ア 出願準備	(a)志願者基本情報一括登録	令和7年11月14日(金)～令和7年12月12日(金)
	(b)志願者基本情報確認・入力	令和7年12月13日(土)～令和8年1月23日(金)
イ 一次募集出願 (出願情報登録)		令和8年1月27日(火) 9:00～令和8年2月5日(木)12:00
ウ 出願変更		令和8年2月6日(金) 9:00～令和8年2月13日(金)12:00
エ 入学考査手数料 (以下「手数料」という。)の納付		令和8年2月13日(金)13:00～令和8年2月17日(火)12:00
オ 受検票の印刷		令和8年2月19日(木) 9:00～令和8年2月24日(火)

(3) 出願手続

出願手続は、滋賀県立高等学校入学者選抜Web出願システム (以下「Web出願システム」という。)により行う。詳細な出願手続については、別に定める「滋賀県立高等学校入学者選抜Web出願マニュアル (以下「Web出願マニュアル」)」を参考にすること。

県外からの志願者および1(3)ウに該当する志願者にとっては、県教育委員会 (高校教育課) に申し出て、その指示に従うこと。

ア 出願準備

(ア) 志願者が行う手続

① 志願者基本情報確認・入力

志願者は、表1-1ア(b)の期間内に、Web出願システムにより、中学校等が一括登録した志願者基本情報が正しく登録されているか確認し、必要に応じて修正および追加、入力を行う。

② 各種資料の準備

志願者は、出願準備期間が終了するまでに、出願に必要な各種資料を準備する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 志願者基本情報一括登録

中学校等は、表1-1ア(a)の期間内に、Web出願システムにより、志願者基本情報の一括登録を行う。

② 志願者基本情報の確認

中学校等は、表1-1ア(b)の期間内に、Web出願システムにより、志願者が確認および入力した志願者基本情報の最終確認を行う。なお、確認に当たっては、志願者の入力事項等に誤りがないことを必ず確認する。

③ 各種資料の準備

中学校等は、個人調査報告書に係るデータや別紙に示す「出願必要書類」の準備や確認を行う。

イ 一次募集出願 (出願情報登録)

Web出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願情報の入力

志願者は、表1-1イの期間内に、Web出願システムにより、出願情報 (志願する学校、学科 (科)、受験する選抜の種類等) を入力する。

② 出願必要書類の提出

志願者は、①の手続に際して、Web出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願情報の確認および承認

中学校等は、表1-1イの期間内に、Web出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。なお、この要項に定める要件を満たしていることを必ず確認し、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。

② 個人調査報告書に係るデータの提出

中学校等は、表1-1イの期間内に、Web出願システムにより、個人調査報告書に係るデータをアップロードして提出する。その際、個人調査報告書に係るデータに示される評価は、生徒指導要録に基づく評価を用いるものとする。

③ 出願必要書類の提出

中学校等は、表1-1イの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備およびこの要項に定める要件を満たしていることを確認の上、適正であると認めるときは、Web出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

ウ 出願変更

志願者は、イに基づく出願後、1人1回に限り、出願先高等学校、課程、学科(科)(同一学校内の学科(科)を含む。)の変更(以下、「出願変更」という。)を行うことができる。出願変更を行う場合は、表1-1ウの期間内に、出願変更申請を行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願変更申請

出願変更を希望する者(以下、「出願変更希望者」という。)は、中学校等へ出願変更を依頼し、出願変更の許可を受けた後、Web出願システムにより、イ(ア)の手続に準じて、新たに出願する県立高等学校の出願情報を入力する。

② 書類の変更・提出

出願変更希望者は、出願変更により出願必要書類の追加や変更の必要がある場合は、表1-1ウの期間内に、Web出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願変更の許可

中学校等は、必要に応じて、Web出願システムにより出願変更の許可を行う。

② 書類の変更・提出

中学校等は、表1-1ウの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムにより、当該生徒の出願に必要な書類を再度アップロードして提出することができる。(個人調査報告書に係るデータの再アップロードは不要。)

③ 出願変更申請の承認

中学校等は、出願の変更が正当と認めた場合、Web出願システムにより、イ(イ)の手続に準じて、承認を行う。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、イ(ウ)の手続に準じて、Web出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

エ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1-1エの期間内(2月17日(火)正午まで)に、手数料を納付する。手数料は、出願する選抜が一つの場合は、2,200円、二つの場合は、4,400円が必要となる。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、2月17日(火)正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

オ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1-1オの期間内に、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表1-1オの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、2月18日(水)に、Web出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 学力検査

ア 学力検査は、出願者全員に対して実施する。

イ 学力検査実施教科は、国語、数学、社会、理科および外国語(英語)の5教科とする。

ウ 学力検査実施教科の配点は、各教科100点を標準とする。

エ 高等学校は、自校の特色に応じて、学力検査実施教科の配点に比重をかけることができる。

オ 各教科等の配点等については、別添「高等学校別入学選抜概要」によるものとする。

- (2) 学校独自検査
 ア 学校独自検査は、学校独自型選抜出願者に対して実施する。
 イ 学校独自検査は、作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査等のうちから1つ以上を課すものとし、実施内容等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。
 ウ 各検査等の配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。
- (3) 受検会場
 出願先高等学校とする。
- (4) 各検査の内容、期日および時間
 各検査の内容、期日および時間は、表1-2のとおりとする。

表1-2 各検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和8年 2月25日(水)	検査	学力検査										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35	食	13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和8年 2月26日(木)	検査	学校独自検査、一般型選抜の実技検査										
	内容	一般 注意	休	作文・小論文・面接・プレゼンテーション・実技検査 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

(注) ・1日目の学力検査の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。
 ・学力検査以外の検査は2日目に実施する。

- (5) 判定（入学許可予定者の決定）
 ア 判定は、学校独自型選抜、一般型選抜の順に行う。学校独自型選抜で入学許可が得られなかった受検者は、一般型選抜で専願受検者とともに判定する。
 イ 学校独自型選抜による判定
 (7) 学校独自型選抜においては、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等を資料とする。
 (イ) 高等学校長は、学力検査、学校独自検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して入学許可予定者を決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。
 (ウ) 学校独自型選抜において、自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する場合は、自己推薦から判定する。募集人数が充足しなかった場合は、その分を中学校長推薦の募集人数に加えて判定する。
 ウ 一般型選抜による判定
 (7) 一般型選抜においては、学力検査結果、個人調査報告書等を資料とする。
 (イ) 高等学校長は、学力検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。
 (ウ) 2(1)エに該当する県立高等学校の校長は、志願者の志望に基づき専門学科を優先して入学許可予定者を決定し、次に、普通科の入学許可予定者を決定するものとする。ただし、守山北高等学校においては、志願者の志望に基づき、みらい共創科を優先して入学許可予定者を決定し、次に、普通科の入学許可予定者を決定するものとする。
 (エ) 一般型選抜は、募集定員から学校独自型選抜の入学許可予定者を除く人数を一般型選抜の募集人数とし、入学許可予定者を決定する。
- (6) 入学許可予定者の発表
 入学許可予定者の発表は、令和8年3月9日(月)に、Web出願システムにより行うものとする。

4 追検査

- (1) 対象者
 対象者は、インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で、表1-2の日程における1日目の学力検査および2日目の学校独自検査（以下「本検査」という。）の全てもしくはその一方を受検できなかった者の中で、追検査の受検を希望する者とする。なお、追検査は、本検査で出願した高等学校、学科（科）について受検するものであり、変更は認めない。

- (2) 申請期日
申請期日は、令和8年2月27日(金)の原則午後3時までとする。
- (3) 申請手続
ア 追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、出身中学校等がない場合は、出願先高等学校長に直接提出すること。
(ア) 一次募集追検査受検願
(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。
イ 中学校長から追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。
ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。なお、郵送による申請手続は認めない。
- (4) 受検会場
ア 追検査（学力検査）の受検会場は、滋賀県庁（滋賀県大津市京町4丁目1-1）とする。
イ 追検査（学校独自検査）の受検会場は、出願先高等学校とする。
- (5) 追検査の内容、期日および時間
ア 志願者は、(4)ア、イにおいて、定められた検査場で、定められた時間割に従って、本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。
イ 追検査の内容、期日および時間は、表1-3のとおりとする。

表1-3 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和8年 3月1日(日)	検査	追検査（学力検査）										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35	食	13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和8年 3月2日(月)	検査	追検査（学校独自検査）、追検査（一般型選抜の実技検査）										
	内容	一般 注意	休	作文・小論文・面接・プレゼンテーション・実技検査 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

(注) ・1日目の追検査（学力検査）の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。
・学力検査以外の追検査は、2日目に実施する。

ウ 追検査（学力検査）、追検査（学校独自検査）、追検査（一般型選抜の実技検査）の実施・採点等については、本検査に準じて行うものとする。

- (6) 判定（入学許可予定者の決定）
出願先高等学校長は、追検査（学力検査）結果、追検査（学校独自検査）結果、追検査（一般型選抜の実技検査）結果、個人調査報告書等を資料として、本検査を受検した志願者の資料と合わせて、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。
- (7) 入学許可予定者の発表
3(6)に同じ。

5 入学者選抜結果の本人への提供

入学者選抜結果の本人への提供（検査結果提供）については、次のとおりである。

- (1) 請求方法
受検者本人による口頭での請求とする。
- (2) 対象となる個人情報の内容
一般型選抜における学力検査各教科の得点および総合順位
- (3) 請求を行うことができる期間
令和8年3月10日(火)から令和8年5月29日(金)（土曜日、日曜日、祝日および学校の指定する日を除く。）とする。受付時間は、午前9時から午後4時までとする。
- (4) 請求を行うことができる場所
県立高等学校入学者選抜の受検校

(5) 本人確認のための必要書類

受検票（印刷したもの）とする。ただし、受検票を紛失した場合は、本人確認の書類（パスポート、健康保険の被保険者証、マイナンバーカード、生徒証明書のいずれか）により確認する。

6 その他

(1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

(2) 出願先高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。

(3) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検に当たって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にする。

海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。

ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和8年2月1日(日)までの期間が6年以内とする。

イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。

(4) 受検に当たって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、出願先高等学校長宛て申し出るものとする。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にする。

(5) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 二次募集

一次募集において、入学許可予定者数が募集定員に満たなかった学科（科）については、次のとおり二次募集を行うものとする。

1 募集

- (1) 二次募集人数
二次募集人数は、学科（科）の募集定員から一次募集の入学許可予定者数を減じた数とする。
- (2) 出願資格
次のいずれかに該当する者で、一次募集を受検し、不合格となった者とする。
ア 第1の1(3)アに同じ。
イ 第1の1(3)イに同じ。
ウ 第1の1(3)ウに同じ。

2 出願

- (1) 出願
ア 第1の2(1)アに同じ。
イ 第1の2(1)イに同じ。
ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、二次募集にあつては、出願先高等学校の同一の課程に2以上の学科（科）が置かれる場合は、これを第2志望または第3志望とすることができる。
エ 次に掲げる県立高等学校の二次募集にあつては、ウの規定によらず、当該県立高等学校に設置する二つの学科（科）を区別せずに出願（学校出願）できるものとし、二つの学科（科）の両方またはいずれかを志望することができる。
膳所高等学校、米原高等学校、草津東高等学校、高島高等学校および守山北高等学校

- (2) 期間
期間は、表1-4のとおりとする。

表1-4 出願手続の内容および期間

出願手続	期間
ア 二次募集出願（出願情報登録）	令和8年3月9日(月) 9:00～令和8年3月11日(水)12:00
イ 手数料の納付	令和8年3月11日(水)13:00～令和8年3月12日(木)12:00
ウ 受検票の印刷	令和8年3月13日(金) 9:00～令和8年3月15日(日)

- (3) 出願手続
出願手続は、Web 出願システムにより行う。詳細な出願手続については、別に定める「出願マニュアル」を参考にすること。
県外からの志願者および1(2)ウに該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。

ア 二次募集出願（出願情報登録）

Web 出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願情報の入力

志願者は、表1-4アの期間内に、Web 出願システムにより、出願情報（志願する学校、学科（科）等）を入力する。

② 出願必要書類の提出

志願者は、①の手続に際して、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願情報の確認および承認

中学校等は、表1-4アの期間内に、Web 出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。確認後、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。

② 出願必要書類の提出

中学校等は、表1-4アの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備を確認の上、適正であると認められたときは、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

イ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1-4イの期間内（3月12日(木)正午まで）に、手数料2,200円を納付する。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、3月12日(木)正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

ウ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表1-4ウの期間内に、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表1-4ウの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、3月12日(木)午後に、Web出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 検査

二次募集においては、面接および作文を出願者全員に対して実施する。なお、一次募集において実技検査を実施する学校、学科(科)で、県教育委員会が実施を認める場合は、二次募集においても実技検査を実施することができる。

(2) 受検会場

出願先高等学校とする。

(3) 検査の内容、期日および時間

検査の内容、期日および時間は、表1-5のとおりとする。

表1-5 検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2~
令和8年 3月16日(月)	検査	二次募集検査		
	内容	一般 注意	休 憩	面接、作文、(実技検査)
	時間	9:00 ~ 9:10		時間割等は各高等学校による

(注) ・第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。
・実技検査の実施の有無は、別添「高等学校別入学者選抜概要」による。

(4) 判定(入学許可予定者の決定)

出願先高等学校長は、面接および作文、(実技検査)の結果、個人調査報告書等を資料とし、また一次募集の学力検査の結果(追検査含む)を参考資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(5) 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和8年3月18日(水)に、Web出願システムにより行うものとする。

4 その他

第1の6に同じ。

II 定時制の課程における入学者選抜

選抜は、「一次募集」と「二次募集」により行うものとする。

第1 一次募集

一次募集においては、全ての学校、学科（科）が「一般型選抜」を実施するものとし、「学校独自型選抜」については、県教育委員会（高校教育課）と協議のうえで、実施することができるものとする。原則として全ての志願者が学力検査を受検するものとする。

一般型選抜は、主として志願者の学力を評価するものとする。学校独自型選抜は、学力をみる検査だけでは測れない資質・能力を多面的に評価するものとし、学校、学科（科）の特色に応じた方法を組み合わせて実施するものとする。

学校独自型選抜は、自己推薦と中学校長推薦の2種類から各高等学校が自校の特色に応じ、選択して実施することができる。

滋賀県立瀬田工業高等学校、滋賀県立彦根工業高等学校および滋賀県立長浜北星高等学校の定時制の課程において、満19歳以上（令和8年4月1日現在）の志願者で希望するものについては、定時制課程特例措置申請書を提出することにより、学力検査に代えて面接および作文で受検することができる。

1 募集

(1) 募集定員

募集定員は、別に定める。

(2) 募集枠および募集人数

一般型選抜および学校独自型選抜における募集枠および募集人数は、各高等学校が作成する別添「高等学校別入学者選抜概要」に基づき、県教育委員会が定めるものとする。

(3) 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

ア 令和8年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者、または修了した者

ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

(4) 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件

ア 学校独自型選抜における出願要件および推薦要件は、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。

イ 中学校長推薦において出願できる者は、(3)アに該当し、出願先高等学校が示す、学校、学科（科）の推薦要件に適する者で、中学校長の推薦を受けた者とする。

ウ 自己推薦において出願できる者は、出願先高等学校が示す、学校、学科（科）の出願要件を満たす者とする。

2 出願

(1) 出願

ア 志願者は、管理運営等規則第11条第2項の規定に基づき、その保護者等（親権者または未成年後見人をいう。）が県内に居住するときは、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

イ 志願者の保護者等が県外に居住するときは、管理運営等規則第11条の3の規定に基づく許可を受けた者に限り、その志願する県立高等学校へ出願することができる。

ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、一般型選抜にあつては、出願先高等学校の同一の課程に2以上の学科（科）が置かれ、一般型選抜の募集枠がある場合、これを第2志望または第3志望とすることができる。

エ 志願者は、学校独自型選抜と一般型選抜の双方に出願することができる。このことを「併願」という。また、一般型選抜にのみ出願することを「専願」という。併願する場合は、学校独自型選抜で志願する学校、学科（科）と、一般型選抜の第一希望の学校、学科（科）は同一のものとする。ただし、学校独自型選抜でその定員の全てを募集する学科（科）には、学校独自型選抜でのみ出願することができる。

オ 自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する学校、学科（科）に出願する場合、志願者は、自己推薦と中学校長推薦のどちらか一方にのみ出願することができる。

(2) 期間

期間は、表2-1のとおりとする。

表2-1 出願手続の内容および期間

出願手続		期間
ア 出願準備	(a) 志願者基本情報一括登録	令和7年11月14日(金)～令和7年12月12日(金)
	(b) 志願者基本情報確認・入力	令和7年12月13日(土)～令和8年1月23日(金)
イ 一次募集出願 (出願情報登録)		令和8年1月27日(火) 9:00～令和8年2月5日(木)12:00
ウ 出願変更		令和8年2月6日(金) 9:00～令和8年2月13日(金)12:00
エ 手数料の納付		令和8年2月13日(金)13:00～令和8年2月17日(火)12:00
オ 受検票の印刷		令和8年2月19日(木) 9:00～令和8年2月24日(火)

(3) 出願手続

出願手続は、Web 出願システムにより行う。詳細な出願手続については、別に定める「出願マニュアル」を参考にすること。

県外からの志願者および1(3)ウに該当する志願者にとっては、県教育委員会(高校教育課)に申し出て、その指示に従うこと。

ア 出願準備

(ア) 志願者が行う手続

① 志願者基本情報確認・入力

志願者は、表2-1ア(b)の期間内に、Web 出願システムにより、中学校等が一括登録した志願者基本情報が正しく登録されているか確認し、必要に応じて修正および追加、入力を行う。

② 各種資料の準備

志願者は、出願準備期間が終了するまでに、出願に必要な各種資料を準備する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 志願者基本情報一括登録

中学校等は、表2-1ア(a)の期間内に、Web 出願システムにより、志願者基本情報の一括登録を行う。

② 志願者基本情報の確認

中学校等は、表2-1ア(b)の期間内に、Web 出願システムにより、志願者が確認および入力した志願者基本情報の最終確認を行う。なお、確認に当たっては、志願者の入力事項等に誤りがないことを必ず確認する。

③ 各種資料の準備

中学校等は、個人調査報告書に係るデータや別紙に示す「出願必要書類」の準備や確認を行う。

イ 一次募集出願 (出願情報登録)

Web 出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願情報の入力

志願者は、表2-1イの期間内に、Web 出願システムにより、出願情報(志願する学校、学科(科)、受検する選抜の種類等)を入力する。

② 出願必要書類の提出

志願者は、①の手続に際して、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願情報の確認および承認

中学校等は、表2-1イの期間内に、Web 出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。なお、この要項に定める要件を満たしていることを必ず確認し、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。

② 個人調査報告書に係るデータの提出

中学校等は、表2-1イの期間内に、Web 出願システムにより、個人調査報告書に係るデータをアップロードして提出する。その際、個人調査報告書に係るデータに示される評定は、生徒指導要録に基づく評価を用いるものとする。

③ 出願必要書類の提出

中学校等は、表2-1イの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備およびこの要項に定める要件を満たしていることを確認の上、適正であると認めるときは、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

ウ 出願変更

志願者は、イに基づく出願後、1人1回に限り、出願変更を行うことができる。出願変更を行う場合は、表2-1ウの期間内に、出願変更申請を行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願変更申請

出願変更希望者は、中学校等へ出願変更を依頼し、出願変更の許可を受けた後、Web 出願システムにより、イ(ア)の手続に準じて、新たに出願する県立高等学校の出願情報を入力する。

② 書類の変更・提出

出願変更希望者は、出願変更により出願必要書類の追加や変更の必要がある場合は、表2-1ウの期間内に、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願変更の許可

中学校等は、必要に応じて、Web 出願システムにより出願変更の許可を行う。

② 書類の変更・提出

中学校等は、表2-1ウの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、当該生徒の出願に必要な書類を再度アップロードして提出することができる。(個人調査報告書に係るデータの再アップロードは不要。)

③ 出願変更申請の承認

中学校等は、出願の変更が正当と認めた場合、Web 出願システムにより、イ(イ)の手続に準じて、承認を行う。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、イ(ウ)の手続に準じて、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

エ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2-1エの期間内(2月17日(火)正午まで)に、手数料を納付する。手数料は、出願する選抜が一つの場合は、950円、二つの場合は、1,900円が必要となる。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web 出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、2月17日(火)正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb 出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb 出願システムにより確認する。

オ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2-1オの期間内に、Web 出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表2-1オの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、2月18日(水)に、Web 出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 学力検査

ア 学力検査は、出願者全員に対して実施する。

イ 学力検査実施教科は、国語、数学、社会、理科および外国語(英語)の5教科とする。

ウ 学力検査実施教科の配点は、各教科100点を標準とする。

エ 高等学校は、自校の特色に応じて、学力検査実施教科の配点に比重をかけることができる。

オ 各教科等の配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。

- (2) 学校独自検査
 ア 学校独自検査は、学校独自型選拔出願者に対して実施する。
 イ 学校独自検査は、作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査等のうちから1つ以上を課すものとし、実施内容等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。
 ウ 各検査等の配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」によるものとする。
- (3) 受検会場
 出願先高等学校とする。
- (4) 各検査の内容、期日および時間
 各検査の内容、期日および時間は、表2-2のとおりとする。

表2-2 各検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和8年 2月25日(水)	検査	学力検査										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35	食	13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和8年 2月26日(木)	検査	学校独自検査、定時制課程特例措置の検査										
	内容	一般 注意	休	作文、小論文、面接、プレゼンテーション、実技検査 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

- (注) ・1日目の学力検査の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。
 ・学力検査以外の検査は2日目に実施する。

- (5) 判定（入学許可予定者の決定）
 ア 判定は、学校独自型選抜、一般型選抜の順に行う。学校独自型選抜で入学許可が得られなかった受検者は、一般型選抜で専願受検者とともに判定する。ただし、定時制課程特例措置については、別途判定する。
 イ 学校独自型選抜による判定
 (7) 学校独自型選抜においては、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等を資料とする。
 (イ) 高等学校長は、学力検査、学校独自検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、学校独自検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して入学許可予定者を決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。
 (ウ) 学校独自型選抜において、自己推薦と中学校長推薦の両方を実施する場合は、自己推薦から判定する。募集人数が充足しなかった場合は、その分を中学校長推薦の募集人数に加えて判定する。
 ウ 一般型選抜による判定
 (7) 一般型選抜においては、学力検査結果、個人調査報告書等を資料とする。
 (イ) 高等学校長は、学力検査、個人調査報告書等の配点の比重を定め、学力検査結果、個人調査報告書等の内容を総合的に判断して決定する。高等学校長が定める配点等については、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。
 (ウ) 一般型選抜は、募集定員から学校独自型選抜の入学許可予定者を除く人数を一般型選抜の募集人数とし、入学許可予定者を決定する。
- (6) 入学許可予定者の発表
 入学許可予定者の発表は、令和8年3月9日(月)に、Web出願システムにより行うものとする。

4 追検査

- (1) 対象者
 対象者は、インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で、表2-2の日程における本検査の全てもしくはその一方を受検できなかった者の中で、追検査の受検を希望する者とする。なお、追検査は、本検査で出願した高等学校、学科(科)について受検するものであり、変更は認めない。
- (2) 申請期日
 申請期日は、令和8年2月27日(金)の原則午後3時までとする。

(3) 申請手続

ア 追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、出身中学校等がない場合は、出願先高等学校長に直接提出すること。

(ア) 一次募集追検査受検願

(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。

イ 中学校長から追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。

ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。なお、郵送による申請手続は認めない。

(4) 受検会場

ア 追検査（学力検査）の受検会場は、滋賀県庁（滋賀県大津市京町4丁目1-1）とする。

イ 追検査（学校独自検査）の受検会場は、出願先高等学校とする。

(5) 追検査の内容、期日および時間

ア 志願者は、(4)ア、イにおいて、定められた検査場で、定められた時間割に従って、本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。

イ 追検査の内容、期日および時間は、表2-3のとおりとする。

表2-3 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和8年 3月1日(日)	検査	追検査（学力検査）										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35	食	13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和8年 3月2日(月)	検査	追検査（学校独自検査）、追検査（定時制課程特例措置の検査）										
	内容	一般 注意	休	面接、作文 等								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による								

(注) ・1日目の追検査（学力検査）の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

・学力検査以外の追検査は、2日目に実施する。

ウ 追検査（学力検査）、追検査（学校独自検査）、追検査（定時制課程特例措置の検査）の実施・採点等については、本検査に準じて行うものとする。

(6) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、追検査（学力検査）結果、追検査（学校独自検査）結果、個人調査報告書等を資料として、本検査を受検した志願者の資料と合わせて、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。なお、定時制課程特例措置については、本検査を受検した志願者の資料と合わせて、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(7) 入学許可予定者の発表

3(6)に同じ。

5 入学者選抜結果の本人への提供

入学者選抜結果の本人への提供（検査結果提供）については、次のとおりである。

(1) 請求方法

受検者本人による口頭での請求とする。

(2) 対象となる個人情報の内容

一般型選抜における学力検査各教科の得点および総合順位

(3) 請求を行うことができる期間

令和8年3月10日(火)から令和8年5月29日(金)（土曜日、日曜日、祝日および学校の指定する日を除く。）とする。受付時間は、午後2時から午後8時までとする。

(4) 請求を行うことができる場所

県立高等学校入学者選抜の受検校

(5) 本人確認のための必要書類

受検票（印刷したもの）とする。ただし、受検票を紛失した場合は、本人確認の書類（パスポート、健康保険の被保険者証、マイナンバーカード、生徒証明書のいずれか）により確認する。

6 その他

(1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

(2) 出願先高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。

(3) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検に当たって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にする。

海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。

ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和8年2月1日(日)までの期間が6年以内とする。

イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。

(4) 受検に当たって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、出願先高等学校長宛て申し出るものとする。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にする。

(5) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 二次募集

一次募集において、入学許可予定者数が募集定員に満たなかった学科（科）については、次のとおり二次募集を行うものとする。

1 募集

- (1) 二次募集人数
二次募集人数は、学科（科）の募集定員から一次募集の入学許可予定者数を減じた数とする。
- (2) 出願資格
次のいずれかに該当する者で、一次募集を受検し、不合格となった者とする。
ア 第1の1(3)アに同じ。
イ 第1の1(3)イに同じ。
ウ 第1の1(3)ウに同じ。

2 出願

- (1) 出題
ア 第1の2(1)アに同じ。
イ 第1の2(1)イに同じ。
ウ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。ただし、二次募集にあつては、出願先高等学校の同一の課程に2以上の学科（科）が置かれる場合は、これを第2志望または第3志望とすることができる。

- (2) 期間
期間は、表2-4のとおりとする。

表2-4 出願手続の内容および期間

出願手続	期間
ア 二次募集出願（出願情報登録）	令和8年3月9日(月) 9:00～令和8年3月11日(水)12:00
イ 手数料の納付	令和8年3月11日(水)13:00～令和8年3月12日(木)12:00
ウ 受検票の印刷	令和8年3月13日(金) 9:00～令和8年3月15日(日)

- (3) 出願手続
出願手続は、Web 出願システムにより行う。詳細な出願手続については、別に定める「出願マニュアル」を参考にすること。

県外からの志願者および1(2)ウに該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。

ア 二次募集出願（出願情報登録）

Web 出願システムへの出願情報の登録と出願必要書類のアップロードを行う。

(ア) 志願者が行う手続

① 出願情報の入力

志願者は、表2-4アの期間内に、Web 出願システムにより、出願情報（志願する学校、学科（科）等）を入力する。

② 出願必要書類の提出

志願者は、①の手続に際して、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出する。

(イ) 中学校等が行う手続

① 出願情報の確認および承認

中学校等は、表2-4アの期間内に、Web 出願システムにより、志願者が入力した出願情報の確認を行う。確認後、誤りがなければ承認を行い、誤りがある場合は、差戻し、志願者に修正指示をする。

② 出願必要書類の提出

中学校等は、表2-4アの期間内に、志願者の代わりに、Web 出願システムにより、出願必要書類をアップロードして提出することができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から出願申請を受けたときは、出願必要書類の不備を確認の上、適正であると認めるときは、Web 出願システムにより、これを受理する。不備等がある場合は、差戻しを行う。

イ 手数料の納付

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2-4イの期間内（3月12日(木)正午まで）に、手数料950円を納付する。納付方法は、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー決済のいずれかで、Web出願システムから納付の手続を行う。なお、一度納付された手数料の返還は行われない。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、3月12日(木)正午までに、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、志願者が手数料を納付していることをWeb出願システムにより確認する。

ウ 受検票の印刷

(ア) 志願者が行う手続

志願者は、表2-4ウの期間内に、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行う。

(イ) 中学校等が行う手続

中学校等は、表2-4ウの期間内に、志願者の代わりに、Web出願システムから、受検票をダウンロードして印刷し、確認を行うことができる。

(ウ) 出願先高等学校が行う手続

出願先高等学校は、中学校等から提出された書類、ならびに手数料の納付状況を確認のうえ、3月12日(木)午後、Web出願システムにより、受検番号の採番を行い、受検票を印刷できるよう準備する。

3 検査

(1) 検査

二次募集においては、面接および作文を出願者全員に対して実施する。

(2) 受検会場

出願先高等学校とする。

(3) 検査の内容、期日および時間

検査の内容、期日および時間は、表2-5または表2-6のとおりとする。

表2-5 定時制の課程（昼間）における検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2～
令和8年 3月16日(月)	検査	二次募集検査		
	内容	一般 注意	休	面接、作文
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は各高等学校による

表2-6 定時制の課程（夜間）における検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2～
令和8年 3月16日(月)	検査	二次募集検査		
	内容	一般 注意	休	面接、作文
	時間	14:00 ～ 14:10	憩	時間割等は各高等学校による

(注) 第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。

(4) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、面接および作文の結果、個人調査報告書等を資料とし、また一次募集の学力検査の結果（追検査含む）を参考資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(5) 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和8年3月18日(水)に、Web出願システムにより行うものとする。

4 その他

第1の6に同じ。

Ⅲ 通信制の課程（大津清陵高等学校）における入学者選抜

選抜は、「一次募集」と「二次募集」により行うものとする。

通信制の課程においては、主として志願者の適性、興味・関心および学習意欲を評価するものとし、学力検査は実施しない。

第1 一次募集

1 募集定員

募集定員は、別に定める。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 令和8年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者
- (2) 中学校等を卒業した者、または修了した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

3 期間および受付時間

- (1) 期間
令和8年3月5日(木)から令和8年3月9日(月)まで（土曜日を除く、日曜日を含む。）とする。
- (2) 受付時間
午前9時から午後4時までとする。

4 出願

志願者は、管理運営等規則第11条第2項および第11条の3の規定に基づき出願することができる。ただし、他の課程および他の公立高等学校との併願はできない。

5 出願手続

出願手続は、Web出願システムは用いず、大津清陵高等学校に持参するものとする。

(1) 出願に必要な書類は次のとおりとする。

ア 入学願書

イ 面接票

志願者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真（縦4cm、横3cm）を所定の欄に貼ること。

ウ 住民票記載事項証明書の写し

(ア) 2(2)に該当する者は、保護者等の住民票記載事項証明書の写しを提出しなければならない。

(イ) 2(1)に該当する者のうち、保護者等が滋賀県内に居住し、かつ県外の中学校に在籍している者は、保護者等の住民票記載事項証明書の写しを提出しなければならない。

エ 滋賀県立高等学校特別出願に係る許可書（以下「特別出願許可書」という。）の写し

管理運営等規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、県教育長の許可を受け、特別出願許可書の写しを添付しなければならない。詳細な手続については、別に定める「滋賀県立高等学校特別事情による出願について」を参考にすること。

オ 雇用（予定）証明書

県内に勤務地を有し、または有する見込みの者のうち県外からの志願者は、雇用（予定）証明書を提出しなければならない。

(2) 志願者は、(1)の書類に、中学校長の作成する個人調査報告書を添えて、大津清陵高等学校長宛て志願者本人が直接提出しなければならない。ただし、県外からの志願者および2(3)に該当する志願者は、大津清陵高等学校長に申し出て、その指示に従わなければならない。

6 面接

面接は、出願者全員に対して出願書類の提出時に実施し、その方法等は、大津清陵高等学校において定める実施要項によるものとする。

7 入学の許可

大津清陵高等学校長は、提出された個人調査報告書および面接の結果を資料として、総合的に判定し、入学許可予定者を決定するものとする。

8 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和8年3月12日(木)10:00に、大津清陵高等学校のWebページに掲載する。

9 その他

- (1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。
- (2) 書類を発送する場合は、全て「書留」、「簡易書留」または「書留」、「簡易書留」に準ずる方法（受付・配達記録が残りがつ対面で受け渡しがされる方法）によるものとする。
- (3) 県外からの志願者および2(3)に該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。
- (4) 大津清陵高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。
- (5) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検に当たって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にすること。
海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。
ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和8年2月1日(日)までの期間が6年以内とする。
イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。
- (6) 受検に当たって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、大津清陵高等学校長宛て申し出るものとする。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にすること。
- (7) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 二次募集

入学許可予定者数が募集定員に満たない場合は、次のとおり二次募集を行うものとする。

1 二次募集人数

二次募集人数は、募集定員から一次募集の入学許可予定者数を減じた数とする。

2 出願資格

第1の2に同じ。

3 期間および受付時間

(1) 期間

令和8年3月15日(日)および令和8年3月18日(水)とする。

(2) 受付時間

午前9時から午後4時までとする。

4 出願

第1の4に同じ。

5 出願手続

第1の5に同じ。

6 面接

第1の6に同じ。

7 入学の許可

第1の7に同じ。

8 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和8年3月19日(木)16:00に、大津清陵高等学校のWebページに掲載する。

9 その他

第1の9に同じ。

IV 全国募集に係る入学者選抜

第1 全国募集

1 実施校、募集学科および募集人数

実施校	募集学科	募集人数
信楽高等学校	総合学科	学校独自型選抜中学校長推薦 募集枠 50%のうち5名以内
伊香高等学校	森の探究科	学校独自型選抜中学校長推薦 募集枠 50%のうち5名以内
虎姫高等学校	普通科	一次募集(学校独自型選抜中学校長推薦および一般型選抜)において、国際バカロレア DP(ディプロマ・プログラム)で学ぶことを希望する者 5名以内

2 出願資格

令和8年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者

3 推薦要件

ア 全国募集の学校独自型選抜における推薦要件は、別添「高等学校別入学者選抜概要」に示すとおりとする。

イ 出願できる者は、出願先高等学校が示す、学校、学科(科)の推薦要件に適する者で、中学校長の推薦を受けた者とする。

ウ 管理運営等規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、出願日までに、滋賀県内に身元引受人がおり、「特別事情による出願許可」を受けている者とする。特別事情による出願許可については、別に定める「滋賀県立高等学校特別事情による出願について」を参考にすること。

4 その他

(1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。

(2) 書類を発送する場合は、全て「書留」、「簡易書留」または「書留」、「簡易書留」に準ずる方法(受付・配達記録が残るか対面で受け渡しがされる方法)によるものとする。

(3) 出願先高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。

(4) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検に当たって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にすること。

海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。

ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和8年2月1日(日)までの期間が6年以内とする。

イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。

(5) 受検に当たって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、出願先高等学校長宛て申し出るものとする。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にすること。

(6) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

第2 信楽高等学校・伊香高等学校の入学者選抜について

信楽高等学校および伊香高等学校の全国募集においては、学校独自型選抜において5名以内を選抜するものとし、志願者は以下に記すとおり学校独自検査を受検するものとする。

1 出願

(1) 出願

ア 志願者は、管理運営等規則第11条の3の規定に基づき出願することができる。ただし、他の課程および他の公立高等学校との併願はできない。

イ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。

(2) 期間および受付時間

ア 期間

令和8年1月23日(金)および令和8年1月26日(月)(土曜日、日曜日を除く)とする。

イ 受付時間

午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、令和8年1月23日(金)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において、中学校長は、郵送した時点で、出願先高等学校長宛て電話で報告するものとする。

(3) 出願手続

出願手続は、Web出願システムは用いず、中学校長を経て出願先高等学校長に提出するものとする。

ア 提出書類

志願者は、次の書類を作成し、提出しなければならない。

(ア) 全国募集入学願書

(イ) 全国募集受検票

(ウ) 特別出願許可書の写し

イ 手数料

(ア) 志願者は、出願に当たって、2,200円の手数料に相当する額面の滋賀県収入証紙を全国募集入学願書の証紙貼付欄に貼り付けなければならない。

(イ) 既納の手数料は、原則として還付しない。

ウ 中学校長は、志願者から提出された書類の内容を確認するとともに、推薦書および個人調査報告書等を作成し、志願者から提出された書類とあわせて出願先高等学校長に提出するものとする。

エ 出願先高等学校長は、中学校長から提出された書類および手数料を確認のうえ、全国募集受検票に受検番号を付して、中学校長に交付するものとする。

オ 中学校長は、志願者に全国募集受検票を交付するものとする。

2 検査

出願者全員に対して、面接および作文を課すものとし、その方法等は各高等学校で定める実施要項によるものとする。

(1) 受検会場

出願先高等学校とする。

(2) 検査の内容、期日および時間

検査の内容、期日および時間は、表4-1のとおりとする。

表4-1 検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2~
令和8年1月31日(土)	検査	学校独自検査		
	内容	一般注意	休憩	面接、作文
	時間	13:00~13:10		時間割等は各高等学校による

(注) 第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。

(3) 判定(入学許可予定者の決定)

出願先高等学校長は、面接および作文の結果や推薦書および個人調査報告書等を資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(4) 入学許可予定者の通知および発表

ア 出願先高等学校長は、令和8年2月5日(木)に当該中学校等を通じて本人に入学許可予定を通知する。

イ アの通知は、全国募集入学許可予定者通知書の交付によって行う。

ウ 全国募集入学許可予定者通知書の交付を受けた者は、当該高等学校に入学するものとする。

エ 全国募集入学許可予定者通知書の交付をもって、入学許可予定者の発表に代える。

3 全国募集追検査

(1) 対象者

対象者は、インフルエンザに罹患するなど、やむを得ない理由で、表4-1の日程における学校独自検査（以下、「全国募集本検査」という。）の全てを受検できなかった者の中で、全国募集追検査の受検を希望する者とする。なお、全国募集追検査は、全国募集本検査で出願した高等学校、学科（科）について受検するものであり、変更は認めない。

(2) 申請期日

申請期日は、令和8年2月2日(月)の原則午後3時までとする。

(3) 申請手続

ア 全国募集追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。

(ア) 全国募集追検査受検願

(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。

イ 中学校長から全国募集追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、全国募集追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。

ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。

(4) 受検会場

出願先高等学校

(5) 全国募集追検査の内容、期日および時間

ア 志願者は定められた検査場で、定められた時間割に従って、全国募集本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。

イ 全国募集追検査の教科、期日および時間は、表4-2のとおりとする。

表4-2 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2～
令和8年2月4日(水)	検査	全国募集追検査（学校独自検査）		
	内容	一般注意	休	面接、作文
	時間	13:00～13:10	憩	時間割等は各高等学校による

(注) 第2限以降の時間割等は実施校の高等学校長が別に定める。

ウ 全国募集追検査（学校独自検査）の実施・採点等については、全国募集本検査に準じて行うものとする。

(6) 判定（入学許可予定者の決定）

出願先高等学校長は、全国募集追検査（学校独自検査）結果や推薦書および個人調査報告書等を資料として、その内容を総合的に判断し、入学許可予定者を決定するものとする。

(7) 入学許可予定者の通知および発表

2(4)に同じ。

第3 虎姫高等学校の入学者選抜について

虎姫高等学校の全国募集においては、一次募集(学校独自型選抜中学校長推薦および一般型選抜)において、国際バカロレアDP(ディプロマ・プログラム)で学ぶことを希望する者5名以内を選抜するものとし、志願者は以下に記すとおり学力検査および学校独自検査を受検するものとする。

1 出願

(1) 出願

ア 志願者は、管理運営等規則第11条の3の規定に基づき出願することができる。ただし、他の課程および他の公立高等学校との併願はできない。

イ 出願は、1人1校、1課程、1学科または1科限りとする。

ウ 志願者は、学校独自型選抜と一般型選抜の双方に出願しなければならない。

(2) 期間

期間は、表4-3のとおりとする。

表4-3 出願手続の内容および期間

出願手続		期間
ア 出願準備	(a)志願者基本情報一括登録	令和7年11月14日(金)~令和7年12月12日(金)
	(b)志願者基本情報確認・入力	令和7年12月13日(土)~令和8年1月23日(金)
イ 一次募集出願(出願情報登録)		令和8年1月27日(火) 9:00~令和8年2月5日(木)12:00
ウ 手数料の納付		令和8年2月13日(金)13:00~令和8年2月17日(火)12:00
エ 受検票の印刷		令和8年2月19日(木) 9:00~令和8年2月24日(火)

(3) 出願手続

原則として、「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の2(3)に準ずる。ただし、出願変更はないものとする。

2 検査

(1) 学力検査

「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(1)に同じ。

(2) 学校独自検査

「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(2)に同じ。

(3) 受検会場

虎姫高等学校とする。

(4) 各検査の内容、期日および時間

各検査の内容、期日および時間は、表4-4のとおりとする。

表4-4 各検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和8年 2月25日(水)	検査	学力検査										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼 食	理科	休	英語
	時間	9:00 ~ 9:10	憩	9:25 ~ 10:15	憩	10:35 ~ 11:25	憩	11:45 ~ 12:35		13:20 ~ 14:10	憩	14:30 ~ 15:20
[2日目] 令和8年 2月26日(木)	検査	学校独自検査										
	内容	一般 注意	休	作文、実技検査								
	時間	9:00 ~ 9:10	憩	時間割等は虎姫高等学校が定めるところによる								

(注) 1日目の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

(5) 判定(入学許可予定者の決定)

ア 原則として、「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(5)に準ずる。

イ 学校独自型選抜における国際バカロレア枠については、全国募集による受検者と県内の受検者の別なく選抜を実施する。

ウ 学校独自型選抜で全国募集枠の5名分が充足しなかった場合は、一般型選抜においても選抜対象とする。

(6) 入学許可予定者の発表

「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の3(6)に同じ。

3 追検査

- (1) 対象者
「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(1)に同じ。
- (2) 申請期日
「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(2)に同じ。
- (3) 申請手続
ア 追検査の受検を希望する志願者は、中学校長を経て、以下に掲げる書類を出願先高等学校長に提出しなければならない。
(ア) 一次募集追検査受検願
(イ) 病院等が発行する診断書や公的な機関が発行する事故証明書等、本検査を受検できなかった理由が明確に分かるもの。
イ 中学校長から追検査の受検希望の報告を受けた高等学校長は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、追検査の受検の可否について協議しなければならない。協議終了後、高等学校長から中学校長を通じて志願者に連絡するものとする。
ウ 申請手続は、Web 出願システムは用いず、出願先高等学校で行うことを原則とする。
- (4) 受検会場
「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(4)に同じ。
- (5) 追検査の内容、期日および時間
ア 志願者は、「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(4)ア、イにおいて、定められた検査場で、定められた時間割に従って、本検査で受検できなかった検査について受検するものとする。
イ 追検査の教科、期日および時間は、表4-5のとおりとする。

表4-5 追検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5		6
[1日目] 令和8年 3月1日(日)	検査	追検査（学力検査）										
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	社会	昼 食	理科	休	英語
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35		13:20 ～ 14:10	憩	14:30 ～ 15:20
[2日目] 令和8年 3月2日(月)	検査	追検査（学校独自検査）										
	内容	一般 注意	休	作文、実技検査								
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	時間割等は虎姫高等学校が定めるところによる								

(注) 1日目の追検査（学力検査）の英語については「聞き取りテスト」を含めて実施する。

ウ 追検査（学力検査）、追検査（学校独自検査）の実施・採点等については、本検査に準じて行うものとする。

- (6) 判定（入学許可予定者の決定）
「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(6)に同じ。
- (7) 入学許可予定者の発表
「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の4(7)に同じ。

4 入学者選抜結果の本人への提供

「I 全日制の課程における入学者選抜」第1の5に同じ。

V 中高一貫教育に係る併設型高等学校の特例

1 入学者選抜の特例

滋賀県立学校の校舎、課程、部および学科等の設置等に関する規則（昭和63年滋賀県教育委員会規則第5号）第2条の表の左欄に掲げる中学校（以下「併設型中学校」という。）に在籍し、令和8年3月に卒業する見込みの者が、同表のそれぞれ当該右欄に掲げる高等学校（以下「併設型高等学校」という。）に、入学を志願する場合は、次により選抜を行わず入学許可予定者とするものとする。

2 併設型高等学校

併設型高等学校および学科は、次のとおりとする。

併設型中学校	併設型高等学校（学科）
滋賀県立河瀬中学校	滋賀県立河瀬高等学校（普通科）
滋賀県立守山中学校	滋賀県立守山高等学校（普通科）
滋賀県立水口東中学校	滋賀県立水口東高等学校(普通科)

3 出願手続

併設型高等学校への志願者は、併設型高等学校入学願書（様式は、各併設型高等学校長が定める。）を令和8年2月18日(水)または令和8年2月19日(木)に、併設型高等学校長に提出しなければならない。

なお、当該併設型高等学校以外の高等学校等へ出願する者は、1による入学者選抜の特例の適用を受けることができないものとする。

VI 転入学・編入学（大津清陵高等学校 昼間部）

大津清陵高等学校昼間部に転入生・編入生の枠として定めた募集定員に対して実施する入学者選抜は、次に定めるところにより行うものとする。

1 募集定員

募集定員は、別に定める。

2 出願資格

次の(1)に該当し、かつ、(2)または(3)のいずれかに該当する者とする。

(1) 志願者が滋賀県内に住所もしくは勤務先を有する者または入学日までに県内に住所もしくは勤務先を有する見込みの者であること。

(2) 転入学志願者

高等学校または中等教育学校の後期課程（以下「高等学校等」という。）に在学し、教科・科目の修得単位を有する者または有する見込みの者

(3) 編入学志願者

過去に高等学校等に在学して、教科・科目の修得単位を有する者

3 期間および受付時間

(1) 期間

令和8年3月10日(火)から令和8年3月12日(木)までとする。

(2) 受付時間

午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、令和8年3月11日(水)の消印のあるものに限り受け付ける。この場合において出願者の在籍する高等学校等の校長は、郵送した時点で、大津清陵高等学校長宛て電話で報告するものとする。

4 出願手続

(1) 転入学志願者は、Web 出願システムは用いず、次の書類を作成し、在学している高等学校等の校長を経て、大津清陵高等学校長に提出しなければならない。

ア 転入学・編入学願書

イ 受検票

志願者は、出願前3箇月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真（縦4cm、横3cm）を所定の欄に貼ること。

ウ 住民票記載事項証明書

編入学志願者ならびに出願先高等学校長が必要と認めた者は、本人および保護者等の住民票記載事項証明書を提出しなければならない。

エ 特別出願許可書の写し

管理運営等規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、県教育長の許可を受け、特別出願許可書の写しを添付しなければならない。詳細な手続については、別に定める「滋賀県立高等学校特別事情による出願について」を参考にすること。

オ 雇用（予定）証明書

県内に勤務地を有し、または有する見込みの者のうち県外からの志願者は、雇用（予定）証明書を提出しなければならない。

(2) 手数料

志願者は、出願に当たって、950円の手数料に相当する額面の滋賀県収入証紙を転入学・編入学願書の証紙貼付欄に貼り付けなければならない。既納の手数料は、原則として還付しない。

(3) 転入学志願者が在学している高等学校等の校長は、提出された書類の内容を審査のうえ、次の書類を作成し、志願者から提出された書類とともに大津清陵高等学校長に提出するものとする。

ア 単位修得証明書（単位修得見込みの教科・科目も付記すること。）（大津清陵高等学校の様式による。）

出願前3箇月以内に発行し、厳封したもの。

イ 成績証明書（大津清陵高等学校の様式による。）

出願前3箇月以内に発行し、厳封したもの。

ウ 転学照会書

(4) 編入学志願者は、Web 出願システムは用いず、(1)の書類を過去に在学した高等学校等の校長が発行した(3)アおよびイの書類とともに、大津清陵高等学校長宛て直接提出しなければならない。

5 学力検査および面接

- (1) 選抜のための学力検査および面接は、出願者全員に対して行う。
- (2) 検査の内容、期日および時間
検査の内容、期日および時間は、表6のとおりとする。

表6 各検査の内容、期日および時間

期日	時限	1		2		3		4		5
令和8年 3月17日(火)	検査	学力検査								
	内容 (教科等)	一般 注意	休	国語	休	数学	休	英語	昼 食	面接
	時間	9:00 ～ 9:10	憩	9:25 ～ 10:15	憩	10:35 ～ 11:25	憩	11:45 ～ 12:35		13:20 ～

- (3) 内容
学力検査の内容は、各教科とも高等学校第1学年修了程度の基本的な問題とする。なお、国語については「作文」を含め実施する。
- (4) 受検会場
大津清陵高等学校とする。

6 選抜の方法

大津清陵高等学校長は、成績証明書、学力検査の成績および面接の結果等を資料として、高等学校教育を受けるに足る者を選抜し、入学許可予定者を決定するものとする。

7 入学許可予定者の発表

入学許可予定者の発表は、令和8年3月19日(木)10:00に、大津清陵高等学校のWeb ページに掲載する。

8 その他

- (1) 出願について不正の事実のあることが判明したときは、入学許可後においてもその許可を取り消すものとする。
- (2) 書類を発送する場合は、全て「書留」、「簡易書留」または「書留」、「簡易書留」に準ずる方法（受付・配達記録が残りがつ対面で受け渡しがされる方法）によるものとする。
- (3) 県外からの志願者および2(3)に該当する志願者にあつては、県教育委員会（高校教育課）に申し出て、その指示に従うこと。
- (4) 大津清陵高等学校長は、この要項に定めるもののほか、あらかじめ県教育長の承認を受け、志願者に対して必要な指示を行うことができる。
- (5) 次に示す海外帰国生徒等に該当する者のうち、受検に当たって特別な配慮を必要とする者は、海外帰国生徒等取扱措置願を提出しなければならない。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にすること。
海外帰国生徒等とは、海外帰国生徒または外国人生徒のうち、次のいずれにも該当する者とする。
ア 帰国または渡日後の期間は、帰国し、または渡日した日から令和8年2月1日(日)までの期間が6年以内とする。
イ 海外における在住期間は、帰国または渡日時からさかのぼり継続して1年以上とする。
- (6) 受検に当たって特別な配慮を必要とする場合、中学校長は、志願者の状況等について、大津清陵高等学校長宛て申し出るものとする。なお、受検上の配慮事項等については、別に定める、「配慮申請実施要領」を参考にすること。
- (7) この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

[別紙] 出願必要書類

【出願必要書類】

選抜の種類	学校独自型選抜		一般型選抜
	自己推薦	中学校長推薦	
選抜に特有のもの	ア 活動実績報告書	イ 推薦書	
その他、必要に応じて提出するもの	ウ 活動の内容等を証明するものの写し		
	エ 住民票記載事項証明書の写し		
	オ 滋賀県立高等学校特別出願に係る許可書（以下「特別出願許可書」という。）の写し		
	カ 副申書		
	キ 定時制課程特例措置申請書（定時制の課程のみ）		
	ク 雇用（予定）証明書（定時制の課程のみ）		

（出願必要書類の名称は、Web 出願システムで提出するデジタルデータを表すものである。）

Web 出願システムに、出願必要書類をアップロードする際には、PDF ファイルまたは画像ファイルを用いるものとする（画像ファイルの形式は、別に定める「滋賀県立高等学校入学者選抜Web 出願マニュアル」を参照のこと）。ただし、画像ファイルは内容が確認できるものであること。また、1 ファイルあたりのファイルサイズは2 MBを超えてはならない。

ア 活動実績報告書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

学校独自型選抜の自己推薦に出願する者は、出願先高等学校が求める要件を満たすこと等を示す活動実績報告書を作成する。

イ 推薦書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

中学校等は、学校独自型選抜の中学校長推薦に出願する者についての推薦書を作成する。

ウ 活動の内容等を証明するものの写し(PDF ファイルまたは画像ファイル)

自己推薦において、出願先高等学校が出願要件を満たすことを証明するもの（資格の認定書や大会等における賞状等）の写しの提出を求める場合、活動実績報告書に添付して提出しなければならない。

また、中学校長推薦において、出願先高等学校が推薦要件を満たすことを証明するもの（資格の認定書や大会等における賞状等）の写しの提出を求める場合、推薦書に添付して提出しなければならない。

エ 住民票記載事項証明書の写し(PDF ファイルまたは画像ファイル)

(a) 中学校等を卒業した者、または修了した者は、保護者等の住民票記載事項証明書の写しを提出しなければならない。

(b) 令和8年3月に中学校等を卒業する見込みの者、または修了する見込みの者のうち、保護者等が滋賀県内に居住し、かつ県外の中学校等に在籍している者は、保護者等の住民票記載事項証明書の写しを提出しなければならない。

オ 特別出願許可書の写し(PDF ファイルまたは画像ファイル)

県立学校の管理運営等に関する規則第11条の3の規定に基づく特別事情による志願者は、滋賀県教育委員会教育長の許可を受け、特別出願許可書の写しを添付しなければならない。詳細な手続については、別に定める「滋賀県立高等学校特別事情による出願について」を参考にすること。

カ 副申書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

その他、出願に際して特に説明が必要な事項について、中学校等が作成した副申書を添付することができる。

キ 定時制課程特例措置申請書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

滋賀県立瀬田工業高等学校、滋賀県立彦根工業高等学校および滋賀県立長浜北星高等学校の定時制の課程において、満19歳以上（令和8年4月1日現在）の志願者で希望するものについては、定時制課程特例措置申請書を提出することにより、学力検査に代えて面接および作文で受検することができる。

ク 雇用（予定）証明書(PDF ファイルまたは画像ファイル)

県内に勤務地を有し、または有する見込みの者のうち県外からの志願者は、雇用（予定）証明書を提出しなければならない。

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 膳所高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 理数学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	県内はもとより日本及び世界のよりよい未来の創造に貢献できる科学技術人材を育成する。					
	〈求める生徒像〉 理科や数学に強い関心があり、基礎的な学力と自学自習できる力を有し、入学後も主体的に学習や課外活動に取り組む意欲を持ち、人としての成長を目指して行動する生徒。					
学校独自型選抜	募集枠	10 %				
	自己推薦	出願要件	個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が40以上で、かつ、次のa～cのいずれかの要件に該当する者 a 数学など特定分野で優れた資格を有し、それを証明する書類が提出できる者 例) 実用数学技能検定準1級以上の合格者、など b 広く公募されているコンテスト・コンクールに出場または出展して、全国で入賞・入選するなど、特定分野で優れた実績を有し、それを証明する書類が提出できる者 例) 日本学生科学賞入選、自然科学観察コンクール佳作、科学の甲子園ジュニア全国大会入賞、算数・数学の自由研究作文コンクール最終審査推薦、日本ジュニア数学オリンピック本選出場、国際理解・国際教育のための全国中学生作文コンテスト佳作、国際協力のための中学生・高校生作文コンテスト優秀賞、高円宮杯全日本中学生英語弁論大会決勝大会進出、など c 社会活動に長期的かつ継続的に取り組み、その活動実績を証明する書類(新聞記事等を含む)が提出できる者 例) 社会福祉や環境美化などの奉仕活動で公的な表彰を受けた者(校内での表彰を除く)、海外留学中に継続的に社会活動に取り組んだ者、など			
		学校独自検査	プレゼンテーション・質疑応答			
	配点	プレゼン・質疑応答	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査	
		300点	200点		500点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1.2	1	1.2	1
	配点	学力検査		個人調査報告書		
		800点	200点			
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・資格や大会結果等を証明する書類を提出すること。 ・プレゼンテーションは、当日発表されたテーマについて3分程度のプレゼンテーションを行い、その内容をふまえ5分程度の質疑応答を行う。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 堅田高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	1 自己実現に向けて基礎学力を定着させるとともに、生徒一人ひとりのニーズに合った発展的な学力の伸長を図ります。 2 基本的な生活習慣や社会人にふさわしいマナーを身に付け、協調性や社会性、責任感を育みます。 3 他者と協働して粘り強く問題を解決しようとする姿勢を育てます。							
	〈求める生徒像〉 1 目標に向かって粘り強く学習に取り組み、自己を高めようとする生徒。 2 明るく健全な学校生活を送り、地域や社会に貢献しようとする生徒。 3 生徒会活動や部活動に積極的に参加し、何事にも挑戦しようとする生徒。							
学校独自型選抜	募集枠	40 %						
	自己推薦	募集人数 ・ 出願要件	募集人数：40人 本校への入学を熱望し、次のa～cのすべての要件を満たし、かつ、d～fのいずれかの要件に該当する者 a 運動系部活動種目の部活動・クラブチームに属している者 b 入学後も継続して部活動や学業に意欲的に取り組む者 c 個人調査報告書における1年生と2年生の2年間分の9教科の評定合計が48以上、かつ、3年生の国語・数学・社会・理科・英語の評定合計が12以上の者 d スポーツにおける全国大会または近畿大会に出場したことがある者 e スポーツにおける県内大会においてベスト8以内に入賞したことがある者 f 競技能力に優れた者					
	学校独自検査	面接、実技検査						
	配点	面接	実技検査	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査		
		200点	500点	200点		100点		
	中学校長推薦	推薦要件	本校への入学を熱望し、学習意欲が旺盛で、入学後は特進クラスで学ぶ意志が強く、次のa、b両方の要件を満たす者 a 大学等へ進学するという強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的を達成するため最大限の努力をする者 b 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が27以上、かつ、3年生の国語・数学・社会・理科・英語の評定合計が15以上の者					
学校独自検査		面接						
配点		面接		個人調査報告書		学力検査		
	200点		300点		500点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語	
	1		1		1		1	
	配点		学力検査			個人調査報告書		
500点		500点			500点			
〈備考〉 ・実技検査は、全員共通で次の5種目を課す。【反復横とび、立ち幅とび、握力、ハンドボール投げ、30m走】 ・中学校長推薦において、特進クラスの定員を超える合格者が出た場合は、所属クラスの選考を行う。								

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 東大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの変化の激しい社会に柔軟に対応し、将来を切り拓いていける自己解決力を備えた生徒を育成します。 ・主体性と協調性を備え、地域社会に貢献できる生徒を育成します。 ・校訓である「3Fの精神 (Fight, Friendship, Fair play)」を尊重し、自律した生徒を育成します。 〈求める生徒像〉 <ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色や教育方針を理解し、自身の新しい可能性を発見し、努力できる生徒を求めます。 ・当事者意識をもって自分で考え、自分で判断して行動できる力をもつ生徒を求めます。 ・周囲と協力しながら、課題解決に向けて主体的に取り組む姿勢をもつ生徒を求めます。 					
学校独自型選抜	募集枠	10 %				
	自己推薦	出願要件	本校志望の意思が強く、学習意欲が旺盛で、次のaの要件を満たし、かつ、b～dのいずれかの要件に該当する者 a 学習面において優秀な成績（個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が40以上）を残した者で、4年制大学への進学を希望し、勉学に励む意思を持つ者 b 実用英語技能検定 英検 CSE スコア 1,950点(2級・準1級受験)、GTEC 960点を有するなど高い英語力を持ち、入学後、海外短期研修に参加する意思を持つ者 c 入学後、主体的に探究活動に取り組み、コンテストや発表会で取組を発表したり、高大連携事業に参加したりする意思を持つ者 d 中学校において生徒会長、生徒会副会長、部活動部長のいずれかを経験した者、または、部活動やクラブチーム等において近畿（関西）大会、全国大会のいずれかに出場した者で、入学後、本校の生徒会活動や課外活動を中心となって牽引する意思を持つ者			
	学校独自検査	小論文				
	配点	小論文 100点	活動実績報告書 400点	個人調査報告書 400点	学力検査 500点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 700点			個人調査報告書 300点	
〈備考〉 ・出願要件の高い英語力の基準は、CEFRのB1レベルとする。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 北大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校の教育目標である「育てる学校」を基盤として、規範意識の醸成と確かな学力を育み、心豊かな逞しい次世代の担い手の育成に努めます(以下のような生徒を育てます)。 <ol style="list-style-type: none"> 基礎ならびに発展的な学力を身につけ、主体的に学ぶことができる生徒 相手の立場に立ち、自ら考え、他者と協調し、行動ができる生徒 規律を守り、社会性を身につけ、節度ある生活をおくることができる生徒 知徳体の調和のとれた健全で心豊かな生徒 					
	〈求める生徒像〉 <ol style="list-style-type: none"> ① 勉学に励み、大学などへの進学を目指したい生徒 ② 基礎学力を身につけ、社会で生きる力をつけたい生徒 ③ 国際交流に興味や関心があり、国際理解を深めたい生徒 ④ 部活動、体育活動や文化活動、社会貢献活動などに励みたい生徒 					
学校独自型選抜	募集枠	40 %				
	自己推薦	募集人数 ・ 出願要件	募集人数：12名 次のa～cのすべての要件を満たす者 a 中学校またはクラブチームにおいて、野球(男女)、サッカー(男)、陸上競技(男女)、バレーボール(女)の競技を中学校の3年間続け、本校入学後も3年間継続して活動する決意を持つ者 b 当該種目において、以下の(a)～(c)のいずれかの要件を満たす者 (a) 全国大会(全国選抜大会)に出場したことがある者 (b) 近畿大会(地区大会)に出場したことがある者 (c) 県大会に出場したことがある者 c 高校における、諸活動や勉学にも熱心に取り組む決意を持つ者			
		学校独自検査	面接			
	配点	面接	活動実績報告書・個人調査報告書	学力検査		
		200点	400点	400点		
	中学校長推薦	推薦要件	本校に対する明確な志望動機があり、次のa、b両方の要件を満たす者 a 〈求める生徒像〉①～④のいずれかに該当する者 b 高校における、諸活動や勉学にも熱心に取り組む決意を持つ者			
		学校独自検査	面接、作文			
配点		面接	作文	個人調査報告書	学力検査	
	150点	150点	300点	400点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査		個人調査報告書		
		500点	500点			
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	魅力あふれる地域社会の創造のために、探究心をもって「学び続ける人」を育成します。 〈求める生徒像〉 ①主体的に探究することに興味を持ち、積極的に学習に取り組む生徒 ②問題意識を持ち、他者と協働して社会に貢献していこうとする生徒					
学校独自型選抜	募集枠	30 %				
	中学校長 推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa～dのすべての要件を満たす者 a 大学等へ進学する強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的達成に最大限の努力をする者 b 学校内での活動（部活動や生徒会活動等）に意欲的に取り組んだ者 c 検定や資格等を取得するなど、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者 d 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が102以上の者			
	学校独自検査	小論文				
	配点	小論文 50点	個人調査報告書 450点	学力検査 500点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点		
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 家庭学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	魅力あふれる地域社会の創造のために、探究心をもって「学び続ける人」を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①食物・被服・保育の分野に興味・関心があり、専門科目に対する学習意欲が高い生徒 ②主体的に探究することに興味を持ち、積極的に学習に取り組む生徒 ③問題意識を持ち、他者と協働して社会に貢献していこうとする生徒					
学校独自型選抜	募集枠	40 %				
	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、食物・被服・保育の分野に興味・関心があり、専門科目に対する意欲が旺盛で、次のa～dのすべての要件を満たす者 a 専門的な知識・技術を習得し、将来、食物・被服・保育の分野での活躍を希望する者や、さらに高度な知識を得るため大学やその他上級学校へ進学を目指す者 b 学校内での活動(部活動や生徒会活動等)に意欲的に取り組んだ者。 c 検定や資格等を取得するなど、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者 d 個人調査報告書における「技術・家庭」の3年間の評定合計が11以上の者			
		学校独自検査	面接			
	配点	面接	個人調査報告書		学力検査	
		50点	450点		500点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査			個人調査報告書	
700点			300点			
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 石山高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	高さを仰ぐ志と自主自律の精神のもと、生徒一人ひとりが、それぞれの個性を存分に発揮するとともに、進路実現に向かって資質・能力を高めることができるよう、多様性を尊重し協力し合える豊かな人間性とグローバルな視野を持って課題解決する力を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①様々なことに対して好奇心を持っている生徒 ②何事にも意欲的に挑戦する生徒 ③夢や目標を実現するために努力できる生徒					
学校独自型選抜	募集枠	10 %				
	自己推薦	出願要件	以下のaの要件を満たし、かつ、b～dのいずれかの要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が38以上の者 b 中学校において生徒会会長あるいは生徒会副会長を務めていた者 c 実用英語技能検定試験準2級以上など、英語技能に関する各資格・検定試験とCEFRとの対照表において、A2ランク以上に相当する成績を有する者 d スポーツ活動や文化芸術活動等に関して実績があり、その実績を証明できる者 《スポーツ活動》以下の基準1または2に該当する者 1 中学校体育連盟主催の大会において、近畿大会規模以上の大会に出場した者 2 中学校体育連盟から県代表として選抜され、全国規模の予選大会に出場した者 ※中学校における部活動以外の、各競技団体に所属するクラブチーム等での実績も同様の基準で扱う 《文化芸術活動》以下の基準に該当する者 中学校の部活動において参加した大会(コンクール・展覧会)において、近畿大会規模以上のコンクール・展覧会に出場あるいは出品を認められた者 ※中学校における部活動以外の文化的活動での実績も同様の基準で扱う			
	学校独自検査	小論文				
	配点	小論文 100点	活動実績報告書 400点	個人調査報告書	学力検査 500点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点		
〈備考〉 ・出願要件(資格や大会結果等)を満たしていることを証明する書類を提出すること。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 石山高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 音楽学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	高きを仰ぐ志と自主自律の精神のもと、生徒一人ひとりが、それぞれの個性を存分に発揮するとともに、進路実現に向かって資質・能力を高めることができるよう、多様性を尊重し協力し合える豊かな人間性とグローバルな視野を持って課題解決する力を育成します。 音楽科では、充実した施設・設備と専門的な音楽教育によって、広く音楽文化の創造発展に寄与する人材を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①様々なことに対して好奇心を持っている生徒 ②何事にも意欲的に挑戦する生徒 ③夢や目標を実現するために努力できる生徒					
学校独自型選抜	募集枠	100 %				
	自己推薦	出願要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 音楽について強い関心があり、積極的に学びたいと考えている者 b 音楽科で学ぶことに強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的達成のために最大限の努力をする者			
	学校独自検査	実技検査				
	配点	実技検査 400点	活動実績報告書 200点	個人調査報告書 200点	学力検査 400点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 —	数学 —	社会 —	理科 —	英語 —
	配点	学力検査 —		個人調査報告書 —		
〈備考〉 ・実技検査は「専攻実技、副科ピアノ、視唱、聴音」とする。 ・二次募集においても、学校独自型選抜の内容に準ずる実技検査を行う。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 瀬田工業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 工業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	グラデュエーション・ポリシー 本校は心身ともに逞しく健康であり、飾りがなく真面目で、社会に貢献できる資質、能力を身につけた職業人を育成します カリキュラム・ポリシー 本校は基礎学力を充実させると同時に、最先端の機器に触れながら工業の専門知識や技術を身につけられる学校です アドミッション・ポリシー 本校は「ものづくり」に興味・関心を持ち、将来工業の知識や技術を活かして社会に貢献することを望んでいる人物を募集します					
	〈求める生徒像〉 ①工業学科の学習に興味・関心を持ち、将来工業技術者として専門知識を生かして企業に就職したり、理工学部関係の大学等に進学して専門性を深めたりして、スペシャリストを目指そうとする人（工業を学ぶことへの思い） ②基本的な生活習慣が身に付いており、部活動や生徒会活動等に積極的に取り組むなど学校生活に意欲的に取り組もうとする人（学校生活への思い）					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	中学校長推薦	推薦要件	工業学科の学習に興味関心を持ち、それを活かして社会に貢献することを望んでおり、基本的な生活習慣が身に付いている者。また学校生活に意欲的に取り組み、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 体育的活動、文化的活動や生徒会活動において、優秀な成績や成果を収めた者			
		学校独自検査	実技検査			
	配点	実技検査 100点	個人調査報告書 700点	学力検査 200点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 500点			個人調査報告書 500点	
		〈備考〉 ・実技検査は、全科共通で「展開図の作図と立体模型の製作」とする。				

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津商業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 商業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	商業の専門高校として専門教育と普通教育を推進し、社会の発展に寄与する創造力豊かで逞しい職業人を育成する。						
	〈求める生徒像〉 ①ビジネス教育（商業教育）に興味・関心を持ち、学習に対して意欲的で、積極的に資格取得に取り組む生徒 ②他者を尊重し、協力して最後まで粘り強く取り組む生徒 ③学習だけでなく、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に積極的に取り組む生徒 ④地域や社会全体の課題に興味・関心を持ち、その解決に取り組む生徒 ⑤部活動に積極的に参加し、学習と部活動の両立を目指して頑張る生徒						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	自己推薦	募集人数・出願要件	募集人数：40人 次のa～cのすべての要件を満たす者 a 商業学科の特色を理解し、学習意欲が旺盛である者 b 本校のアーチェリー部（男女）、スポーツ拳法部（男女）、ソフトボール部（女子）、野球部（男子）、陸上競技部（男女）に関わる優れた競技実績を有し、本校入学後は3年間継続して当該部活動に取り組む強い意志がある者 c 個人調査報告書における1年生と2年生の2年間分の9教科の評定合計が54以上、または、3年生の9教科の評定合計が27以上の者				
		学校独自検査	面接				
		配点	面接 200点	活動実績報告書 600点	個人調査報告書	学力検査 200点	
	中学校長推薦	推薦要件	aのいずれかの要件とbの要件を満たし、かつ、c、dのいずれかの要件を満たす者 a(情報システム科) 情報技術で社会に貢献したいと考え、プログラミングやウェブデザイン等の学びを深める強い意欲を持つ者 a(総合ビジネス科) 世界で活躍するビジネスパーソンを目指し、マーケティング、アカウンティング、グローバルの各分野において学びを深める強い意欲を持つ者 b 基本的な生活習慣が確立されており、部活動、生徒会活動、学校行事等のリーダーとして活躍が期待できる者 c 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が81以上の者 d 実用英語検定3級以上に合格し、それを証明する書類を提出できる者				
		学校独自検査	面接				
		配点	面接 100点	個人調査報告書 600点	学力検査 300点		
	一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
		配点	学力検査 600点			個人調査報告書 400点	
			〈備考〉 ・大会結果や資格実績等を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。 ・自己推薦において、情報システム科、総合ビジネス科の人数バランスは問わない。				

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 彦根東高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	【自立】幅広く深い教養や探究心を身につけ、自ら主体的に行動し人生を切り拓く力 【協働】心豊かでグローバルな視点を持ち、多様な人々と共に持続可能な社会を実現する力 【創造】自らの資質・能力を伸ばす挑戦を惜しまず、新しく価値のあるものを創る力を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①県内各地から、高い志を持ち自ら学びに向かい、自己の能力を開拓する大志のある人 ②県内各地から、人を思いやる心を持ち、他者との対話を大切に、協働して課題解決に取り組む人 ③県内各地から、グローバルな視野に立ち、日本や世界で活躍する大志を持つ人を求めます。					
学校独自型選抜	募集枠	5 %				
	自己推薦	出願要件	次の a、b 両方の要件を満たす者 a GS (グローバル・サイエンス) コースに入り、自然科学や社会科学の学びや海外研修等に意欲的に取り組む者 b 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が36以上の者			
		学校独自検査	面接			
	配点	面接 200点	活動実績報告書 500点	個人調査報告書 500点	学力検査 300点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査 700点			個人調査報告書 300点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学選抜概要

〈学校名〉 河瀬高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	校訓「志成」のもと、自主的・自律的に考え行動するとともに、視野を地域から世界へ広げ、何事にも意欲を持って取り組める心豊かな生徒を育成します。						
	〈求める生徒像〉 ①旺盛な好奇心を持ち、自己の可能性を追求し、目標を持って自ら学ぼうとする生徒 ②地域社会や世界の諸課題に関心を持ち、論理的に思考して課題解決に取り組もうとする生徒 ③多様な価値観を受容し、他者と協働しながら物事に取り組もうとする生徒						
学校独自型選抜	募集枠	20 %					
	自己推薦	出願要件	地域社会や世界の諸課題の解決に関心を持ち、高校での探究活動に主体的に取り組む、対外的な発表や交流などにも積極的に参加して学びを深めようとする者で、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が37以上の者 b 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が35以上、かつ、CEFRA 2ランク以上の資格を有する者				
		学校独自検査	小論文				
		配点	小論文 200点	活動実績報告書 300点	個人調査報告書 300点	学力検査 500点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 700点		個人調査報告書 300点		
	〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 彦根工業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 工業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・人間力（生涯学び続けようとする意欲、思考力・判断力・表現力および課題解決能力、コミュニケーション力・リーダーシップ、想像・創造する力と課題解決力） ・地域の伝統産業の技に繋がる基礎的なものづくりの知識と技術（スキル） ・社会的課題や変化をチャンスにする力 ・郷土愛にあふれた人材となり、地域を活性化させ、国際社会の変化に対応する力 これらを身につける教育活動を行います。					
学校独自型選抜	募集枠	50 %	基本的生活習慣が身に付いており、ものづくりや資格取得など、志望学科における学習への意欲が旺盛でかつ目的意識が明確であり、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 学業成績において総合的に優れている者 b 体育的活動、文化的活動、および特別活動に顕著な成果を収めるなど、優れた能力・資質を有し、3年間継続して活動する意志があり、リーダーとして活躍が期待できる者			
中学校長推薦	学校独自検査	面接、作文				
配点	面接 100点	作文 100点	個人調査報告書 600点	学力検査 200点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
配点	学力検査 500点			個人調査報告書 500点		
〈備考〉 ・資格および大会結果等の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 彦根翔西館高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	幅広い教養と確かな学力、専門性の向上を図るとともに、規範意識や社会性などの育成を通して、豊かな人間性を育み、社会に貢献できる逞しい人間を育成します。 〈求める生徒像〉 ① 自分の秘められた能力を発見し、それを引き出し、自らの進路実現を目指そうとする生徒 ② 「勉強と部活動の両立」「検定合格や資格の取得」などを目指して充実した高校生活を過ごそうとする生徒						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	中学校長推薦	推薦要件	学校生活に意欲的に取り組む者で、次の a、b のいずれかの要件を満たす者 a 総合学科に興味・関心を示し、将来の進路に関して主体的に探究する目的意識を持ち、その達成に向けて努力する者 b 体育的活動・文化的活動で優れた実績または優れた能力や適性を有し、入学後も部活動を3年間継続する意志を有する者				
		学校独自検査	面接、作文				
	配点	面接 100点	作文 100点	個人調査報告書 700点	学力検査 100点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点			学力検査 700点		個人調査報告書 300点	
	〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 長浜北高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、考え、判断する力や進んで学び続けようとする姿勢を育てます。 ・多様な他者を理解し思いやり、助け合う力を育てます。 ・地域からの学びを原点とした広い視野を育てます。 〈求める生徒像〉 <ul style="list-style-type: none"> ・学習に主体的、意欲的に取組もうとする生徒 ・協調性をもって規律ある学校生活を送ろうとする生徒 ・生徒会活動や部活動などに積極的に参加しようとする生徒 					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	自己推薦	募集人数 ・ 出願要件	募集人員：24人 次のa1～a3のいずれかの要件を満たし、かつ、bの要件を満たす者 a1 実用英語技能検定3級以上、実用数学技能検定3級以上、日本漢字能力検定3級以上のいずれかの成績を有する者 a2 中学校で生徒会長、部活動の部長のいずれかの経験がある者 a3 中学校の部活動や学校外の活動において、本校にある部活動での成績・実績が優れている者 b 学校生活に意欲的に取り組む意思が明確である者			
		学校独自検査	作文			
	配点	作文	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査	
		150点	350点		500点	
	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、次のa～cのすべての要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 大学等への進学について強い進学意識と目的意識を有する者 c 規範意識が高く規則正しい学校生活を送れる者			
学校独自検査		作文				
配点		作文	個人調査報告書	学力検査		
	150点	350点	500点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査		個人調査報告書		
700点		300点				
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 虎姫高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	質実剛健の校風の下に、真に実力を持ち、我が国の発展と国際社会の繁栄に貢献できる人間を育成する。					
	〈求める生徒像〉 ・中学での学びの上に、国内外の大学進学に必要な学力をつけたい生徒 ・スーパーサイエンスハイスクールの学びを通して、科学分野の先端的な研究に挑戦したい生徒 ・国際バカロレアのコースに進み、国際社会で活躍できる力をつけたい生徒 ・実践的な英語力を身につけて、海外留学や世界の人々との交流に挑戦したい生徒 ・社会のニーズを探究し、将来、新たなビジネスの創出や起業を目指したい生徒 ・生徒が主役となって、生徒会活動や自主活動を企画したり運営したりして盛り上げたい生徒 ・人生に一度の高校生活で、いろんなことにチャレンジしたい生徒					
学校独自型選抜	募集枠	20 %				
	中学校長推薦	推薦要件	○探究枠 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が38以上で、次のa～cのいずれかの要件に該当する者 a スーパーサイエンスハイスクールの学びを通して、科学技術や理数分野の先進的な研究に挑戦する意欲を持つ者 b 他者と協働して社会の課題を探究し解決する意欲にあふれ、将来、新たなビジネス等を創出しようとする意欲を持つ者 c 海外留学や世界の人々との交流を通して実践的な英語力を身につけ、将来、国際社会に貢献する具体的な目標を持つ者			
		学校独自検査	面接、作文			
	配点	面接	作文	個人調査報告書	学力検査	
		150点	150点	200点	500点	
	中学校長推薦	推薦要件	○国際バカロレア枠(募集人数:10名) 次のa、b両方の要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が38以上で、3年生の外国語の評定が5または実用英語技能検定準2級以上(令和7年12月末までに取得している者。合格証書の写しを提出。)の者 b 「IBの学習者像」を目標として、本校の国際バカロレア課程で学ぶという強い意志を持つ者			
		学校独自検査	作文、実技検査			
		配点	作文	実技検査	個人調査報告書	学力検査
	150点		150点	200点	500点	
	一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科
1			1	1	1	1
配点		学力検査			個人調査報告書	
		700点			300点	
〈備考〉 ・実技検査は「英語による質疑応答」とする。 ・学校独自型選抜は、探究枠または国際バカロレア枠のいずれか一方にのみ出願することができる。 ・学校独自型選抜の「作文」および「面接」は、推薦要件に応じた具体的な志望動機や経験、資質等を問う内容とする。 ・学校独自型選抜の国際バカロレア枠で合格した者は、入学後、IB候補生となる。探究枠や一般型選抜で合格した者も、希望してIB候補生になることができる。(IB候補生は最大40名。希望者多数の場合は、選考を行い決定する。) ・一次募集では、本校の国際バカロレア課程で学ぶ強い意志を持つ県外生を対象として、5名を上限に全国募集を行う。全国募集に出願できるのは、一般型選抜と学校独自型選抜の国際バカロレア枠の両方に出願する場合に限る。選抜方法や検査内容は県内受検者と同じとする。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 伊香高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	将来の地域社会に貢献しうる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ・目標に向かって、真面目にコツコツと一生懸命取り組もうとする生徒 ・思いやりの心を持ち、他者と協働して、失敗を恐れずに前向きに挑戦できる生徒 ・地域をフィールドにして行う学習や活動に興味・関心があり、探究しようとする生徒 ・滋賀北部の豊かな自然環境や地域文化から学び、地域貢献しようとする生徒					
学校独自型選抜	募集枠	40 %				
	中学校長推薦	推薦要件	基本的生活習慣が身につけており、本校志望の意志が強く、学校生活に意欲的に取り組む者で、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 本校での学習に強い興味・関心を持ち、学業成績が総合的に優れ、入学後も積極的に学習を続ける者 b 体育・文化・生徒会活動などの特別活動で優れた能力や適性を持ち、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者 c 柔道、野球、剣道のいずれかの競技経験者で、本校入学後、部に所属して3年間活動を続け、活躍する意思をもつ者			
	学校独自検査	面接、作文				
	配点	面接 100点	作文 100点	個人調査報告書 600点	学力検査 200点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 伊香高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 森の探究科

スクール・ポリシー (学科の特色)	知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を育み、地域の未来を創造し持続可能な地域社会を支える環境未来人材を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ・目標に向かって、真面目にコツコツと一生懸命取り組もうとする生徒 ・思いやりの心を持ち、他者と協働して、失敗を恐れずに前向きに挑戦できる生徒 ・地域をフィールドにして行う学習や活動に興味・関心があり、探究しようとする生徒 ・滋賀北部の豊かな自然環境や地域文化から学び、地域貢献しようとする生徒					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	中学校長推薦	募集人数・推薦要件	募集人数：5人【全国募集】 中学生時代に体育的・文化的活動や生徒会活動、地域でのボランティア活動等の実績がある者で本科志望の意志が強く、自然環境や森林、エネルギーといった分野についての学習に興味・関心があり、将来その分野での活躍を希望する者 また、入学後は地域連携の諸活動のリーダーとしての活躍をめざす者			
		学校独自検査	面接、作文			
	配点	面接	作文		個人調査報告書	
		100点	100点		800点	
	中学校長推薦	推薦要件	滋賀県の豊かな自然環境や地域文化に興味・関心を持ち、地域での活動に積極的に参加しようとする者で本科志望の意志が強く、基本的生活習慣が身につけており、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 本校での学習に強い興味・関心を持ち、学業成績が総合的に優れ、入学後も積極的に学習を続ける者 b 体育・文化・生徒会活動などの特別活動で優れた能力や適性を持ち、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者			
学校独自検査		面接、作文				
配点		面接	作文	個人調査報告書	学力検査	
	100点	100点	600点	200点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 500点			個人調査報告書 500点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 長浜農業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 農業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	理論的な思考力、想像力、表現力、コミュニケーション力を育み、専門的な知識・技術を活かして主体的、協働的な活動ができる能力と他者を思いやる心豊かな社会人としての自立できる規範意識を持ち、また産業人としての勤労観や職業観により農業の担い手や農業の理解者の資質と能力を育成します。						
	〈求める生徒像〉 ① 自然の営みに興味・関心がある。 ② 基本的な生活習慣が身につけており、学ぶ意欲がある。 ③ 将来の地域社会に貢献する意欲がある。						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	中学校長推薦	推薦要件	本校に対する明確な志望動機があり、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 人物・学業成績とも優秀で、基本的な生活習慣（言葉遣いや礼儀など）が身につけており、規律ある学校生活を送れる者 b 農業（動物、植物や食品、園芸等）の学習に興味・関心があり、将来の進路実現に向け、目的をもって学習できる意欲を有する者 c 生徒会活動、学級活動、校内外活動に積極的に取り組み、リーダーとして入学後も活躍できる者				
		学校独自検査	面接				
	配点	面接 120点	個人調査報告書 630点	学力検査 250点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 長浜北星高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・自分の未来を切り拓いて、地域社会に貢献できる力を育成します。 ・主体性や協調性を養い、社会の変化に対応できる自主・自立の精神に満ちた心豊かな人材を育成します。 〈求める生徒像〉 ①進学や就職を目指して、学習活動に積極的に取り組む意欲のある生徒 ②体育、文化、奉仕活動に熱心に取り組む意欲のある生徒					
学校独自型選抜	募集枠	30 %				
	中学校長推薦	推薦要件	総合学科の特徴を十分に理解し、高い学習意欲を持ち、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 工業・商業・福祉の専門科目や普通科とは違う特色のある科目について積極的に学び、大学等の進学を希望する者 b 自己の適性を見つけて、就職したいと考える者 c 体育部、文化部、生徒会活動において優れた能力や適性を持ち、入学後も意欲的に活動したいと考える者			
	学校独自検査	面接、作文				
	配点	面接 100点	作文 100点	個人調査報告書 600点	学力検査 200点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 600点		個人調査報告書 400点		
〈備考〉 ・各競技、種目について、県大会ベスト4以上、近畿大会出場、全国大会出場は「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八幡高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	確かな学力、主体的に学び続ける力や、目標達成に向けてあきらめずに挑戦を続ける粘り強さを育てるとともに、心身を慈しみ、多様性を尊重する姿勢を育みます。					
	〈求める生徒像〉					
	① 自己実現に向けて、主体的・積極的に取り組むことのできる生徒 ② 自律し、自立できる生徒 ③ 多様性を尊重し、人とのつながりを大切にできる生徒					
学校独自型選抜	募集枠	40 %				
	自己推薦	募集人数 ・ 出願要件	募集人数：【陸上競技】10人(男女合計)、 【硬式野球】9人(男子)、 【サッカー】11人(男子) 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が82以上で、本校入学後、学業に意欲的に取り組み、かつ、次の各競技においてa、b両方の要件を満たす者 【陸上競技】 a 本校入学後、陸上競技部に3年間所属して活動を続け、活躍する意志を持つ者 b 県中学校体育大会、もしくは、県中体連が主催する各ブロックのブロック大会において、個人種目でベスト8以内に入ったことのある者 【硬式野球】 a 本校入学後、硬式野球部に3年間所属して活動を続け、活躍する意志を持つ者 b 県中学校体育大会またはクラブチームでの主要な大会の野球競技において、ベスト8以内に入ったチームの登録選手 【サッカー】 a 本校入学後、サッカー部に3年間所属して活動を続け、活躍する意志を持つ者 b 次の①～⑤のいずれかに該当する者 ① 県中学校体育大会ベスト8以内 ② クラブユース各種大会(新人戦・クラブユース選手権)ベスト16以内 ③ 高円宮杯U-15サッカー選手権大会ベスト16以内 ④ 中体連選抜 ⑤ U-15県トレセン選抜・地区トレセン選抜			
	学校独自検査	面接				
	配点	面接 100点	活動実績報告書 600点	個人調査報告書 300点	学力検査 300点	
	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が90以上で、大学等へ進学する強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的達成のために最大限の努力ができ、かつ、次のa、bのいずれかの要件に該当する者 a 看護や福祉等に強い関心を持ち、ボランティア活動等に積極的に取り組む者 b 体育的・文化的活動および生徒会活動などにおいて成果を収めた者			
	学校独自検査	面接				
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点		
〈備考〉 ・自己推薦での出願には、出願要件にかかる活動実績が証明できるものを提出すること。 ・自己推薦においては、各競技の県大会ベスト4以上、近畿大会出場、全国大会出場、およびサッカーの出願要件b④⑤の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八幡工業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 工業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	柔軟で創造的な思考で社会のものづくりを支え、発展させる有為な人材の育成を図る。					
	〈求める生徒像〉 ○学校生活に取り組む意欲が旺盛な生徒 ○工業の学習に興味や関心がある生徒 ○基本的な生活習慣が身についている生徒 ○部活動や特別活動に意欲的に取り組む生徒					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	中学校長推薦	推薦要件	基本的な生活習慣が身についており、ものづくりや資格試験を含めた工業の学習に興味や関心があり、特別活動、部活動などの学校生活に取り組む意欲が旺盛で、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 学業成績において総合的に優れている者 b 体育的活動で優れた実績、または優れた能力や適性を有し、他の模範となる者 c 文化的活動や特別活動において優れた成果を収めた者			
	学校独自検査	面接				
	配点	面接 200点	個人調査報告書 600点	学力検査 200点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 600点			個人調査報告書 400点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八幡商業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 商業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	「三方よし」の精神を引き継ぎ、高い志を持って、広い視野で、深く考えることができ、将来、ビジネス社会のリーダーとして活躍できる人材を育成します。 〈教育目標〉					
	1 新しい商業教育の構築 質の高い商業教育を展開するとともに、多様な教育実践の研究を進め、21世紀社会に求められる新しい商業教育の構築に努める。 2 部活動の活性化 活発な部活動の保障と条件整備を行うとともに、部活動による人間性の形成に資するように努める。 3 国際理解教育の推進 真の国際人を育成するために国際交流事業の充実を図り、国際理解教育の推進に努める。					
〈求める生徒像〉 商業の専門教育に対する興味・関心があり、学習意欲があるとともに、部活動や学校行事等の特別活動において主体的に取り組む意欲のある生徒						
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	中学校長推薦	推薦要件	本校を志望する動機が明白であり、個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が27以上の者で、次のa～dのいずれかの要件を満たす者 a 商業の専門教育に対する興味・関心があり、学習意欲がある者 b 商業や情報または英語に関する資格を有し、入学後も積極的に専門的な学習に取り組む者 c スポーツ活動や文化的活動に顕著な実績、または優れた能力や適性を持ち、入学後も継続して意欲的に取り組み、活躍が期待できる者 d 生徒会活動や特別活動などにおいて積極的に取り組み、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者			
	学校独自検査	面接				
	配点	面接 200点	個人調査報告書 600点	学力検査 200点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
〈備考〉 ・学校独自型選抜において、推薦要件のb～dに係る有資格者および大会結果等の顕著な活動実績がある者については「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 草津東高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	体育施設等の充実した環境のもと、強い意志を土台とした、たくましい実践力を育む中で、主体性や創造性を持ち、誠実な姿勢で、持続可能な社会の創り手（グローバルシチズン）として貢献できる能力を育成します。 〈求める生徒像〉 (1) 部活動や体験的活動に主体的に取り組む意志を持ち、充実した環境のもとで、それらを実践しながら、自らの夢にチャレンジしようとする生徒 (2) 自らの行動に対する責任と、社会に貢献したいという意欲を持ち、それらを具現化できる生徒 (3) 広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら、集団として高め合うことのできる生徒				
学校独自型選抜	募集枠	10 %			
	自己推薦 A	出願要件	本校入学後、部活動と学習に意欲的に取り組む意志があり、次のa、b両方の要件を満たし、かつ、c～fのいずれかの要件に該当する者 a 中学校の部活動や外部のクラブチームに所属し、入学後も本校の体育部活動にて3年間継続して活動に取り組む意志のある者 b 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が32以上の者 c 体育的活動において、近畿中学校体育大会または全国規模の大会に出場した者 d 体育的活動において、県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者 e 県選抜選手、県代表選手、日本代表選手として活動した経験のある者 f 上記の競技成績と同等の優れた運動能力を有する者		
	学校独自検査	実技検査			
	配点	実技検査 300点	活動実績報告書 200点	個人調査報告書	学力検査 500点
	募集枠	25 %			
	自己推薦 B	出願要件	本校に対する明確な志望動機があり、次のaの要件を満たし、かつ、b～eのいずれかの要件に該当する者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が36以上の者 b 中学校の部活動や外部の団体に所属し、体育的または文化的活動に優れた実績や能力を有し、入学後も本校の部活動にて継続して活動に取り組む意志のある者 c 中学校生活を高い学習意欲と規範意識を持って過ごした者で、入学後も目的意識を持って生活し、その達成のために主体的に行動する意志のある者 d 社会に対する課題意識や、自身の夢を持ち、課題解決や夢の実現に向けた実践をした経験のある者で、入学後も継続して行動する意志のある者 e 学校のリーダーとして活躍した経験のある者で、入学後も他の生徒を牽引して学校の活性化に努める意志のある者		
学校独自検査	プレゼンテーション				
配点	プレゼンテーション 300点	活動実績報告書 200点	個人調査報告書	学力検査 500点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1 英語 1
	配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点	
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・学校独自型選抜では、受検者が、自己推薦AまたはBのいずれかを選択して出願すること。 ・自己推薦Aおよび一般型選抜（学校出願にて体育学科のみ、または普通科と体育学科両方を志願する者）の実技検査は、[複合的運動]とする。ただし、併願者は、学校独自型選抜での実技検査結果を、一般型選抜での実技検査結果に適用する。 ・[複合的運動]では、走る、ミニハードルを跳ぶ、ボールを投げる、バランスを取る等の運動能力を総合的に評価する。 ・自己推薦Bのプレゼンテーションは、一人2分間で、自己のこれまでの経験と今後取り組みたいことについて発表を行うものとし、資料等を準備しても良い。資料等を準備する場合は、事前に提出した申請用紙の内容に基づき、当日持参すること。 ・取得した資格や部活動等の実績を「活動実績報告書」「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。					

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 草津東高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 体育学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	体育科の特色あるカリキュラムのもとで、スポーツ全般に対して知識を深め技術力を向上させるとともに、意欲的に学業に取り組むことで文武両道を目指し、持続可能な社会の創り手（グローバルシチズン）として貢献できる能力を育成します。 〈求める生徒像〉 (1) 自らの行動に責任を持ちながら、自身の競技力の向上を目指し、挑戦を続ける生徒 (2) 将来、社会のスポーツ振興に貢献できる指導者等の道を目指し、意欲的に学習や部活動に取り組む生徒 (3) 広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら行動し、集団として高め合うことのできる生徒				
学校独自型選抜	募集枠	90 %			
	中学校長推薦	推薦要件	規範意識を持って、学校生活に意欲的に取り組み、本校の体育部活動に所属し3年間継続して競技に取り組む強い意志があり、次のa、b両方の要件を満たし、かつ、c～fのいずれかの要件に該当する者 a 体育について幅広く学ぶ意欲があり、本校体育科への志望の意志が強く、目的意識を持ち、その達成に向けて主体的に努力することを期待できる者 b 陸上競技・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・アーチェリー・基礎能力テスト のいずれかを、実技検査として選択できる者 c 全国規模の大会または、近畿中学校体育大会に出場した者 d 県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者 e 県選抜メンバー、県代表メンバー、日本代表メンバーとして活動した経験のある者 f 上記の競技成績と同等の優れた運動能力があると認められる者		
	学校独自検査	実技検査			
	配点	実技検査 600点	個人調査報告書 200点	学力検査 200点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1 英語 1
	配点	学力検査 500点		実技検査 200点	個人調査報告書 300点
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。 ・二次募集においても、一般型選抜の内容に準ずる実技検査を行う。 ・学校独自型選抜における実技検査は、受験者が、A群[陸上競技・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・アーチェリー・基礎能力]から1競技を出願時に選択し、さらにB群[複合的運動]の全ての種目を受検するものとする。なお、A群を選択した場合の各競技の種目は以下の通りとする。 【陸上競技】 50m走、50mハードル、1000m走、立三段及び、メディシンボール投げ から1種目選択 【バスケットボール】 オールコートドリブルシュート、ジャンプシュート 【サッカー】 パス&コントロール、コーンドリブルシュート 【剣道】 基本打突、正面打ち、前後切り返し、小手面、胴打ち、面体当たり、引き面、引き小手、引き胴 【水泳】 体幹・バランス保持力および肩関節可動域の測定 【アーチェリー】 ゴムチューブによるシューティング(12回) 【基礎能力】 30m走、立幅跳び、メディシンボール投げ(フロント) ・[複合的運動]では、走る、ミニハードルを跳ぶ、ボールを投げる、バランスを取る等の運動能力を総合的に評価する。 ・一般型選抜(学校出願にて体育学科のみ、または普通科と体育学科の両方を志願する者)の実技検査は、[複合的運動]のみとする。ただし、学校独自型選抜と一般型選抜の併願者は、学校独自型選抜での実技検査結果を一般型選抜での実技検査結果に適用する。 ・取得した資格や部活動等の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。					

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 草津高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	○協働学習を通じた探究的な学びや課題解決学習に取り組み、自ら学び続けることができる生徒を育みます。 ○部活動や生徒会活動に取り組み、充実した高校生活を送り、経験したことを自ら振り返って次に生かすことができる生徒を育みます。 ○人権学習を中心に様々な学習活動をとおして、高い人権感覚を身に付けます。系統的なキャリア教育を推進し、自己のキャリアプランニングを行います。					
	〈求める生徒像〉 ○自己実現や進路実現に向けて、意欲的に学習に取り組める生徒 ○体育活動、文化活動や生徒会活動などに積極的に取り組める生徒 ○ボランティア活動などに積極的に取り組み、地域や社会に貢献することに意欲的な生徒					
学校独自型選抜	募集枠	15 %				
	中学校長推薦A	推薦要件	本校入学の目的意識が明確であり、その実現に強い意欲を持つ者で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 入学後、自らの進路実現に向けて意欲的に学習や自主活動に取り組める者 b 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が90以上、かつ3年生の評定合計が30以上の者			
		学校独自検査	面接			
	配点	面接	個人調査報告書	学力検査		
		100点	500点	400点		
	募集枠	10 %				
	中学校長推薦B	推薦要件	本校入学の目的意識が明確であり、その実現に強い意欲を持つ者で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 体育活動【野球(男子)、サッカー(男子)、バレーボール(女子)】に優れた実績や能力を有し、入学後も継続して意欲的に取り組み活躍が期待できる者 b 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が75以上、または、3年生の評定合計が25以上の者			
		学校独自検査	面接			
	配点	面接	個人調査報告書	学力検査		
		100点	700点	200点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査 600点		個人調査報告書 400点		
〈備考〉 ・学校独自型選抜(中学校長推薦A)の自主活動とは、体育活動、文化活動、生徒会活動、ボランティア活動等を指す。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 玉川高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	「自律・友愛・進取」の校訓のもと、人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指しています。わかりやすい授業と熱心な部活動指導で学業と部活動との両立を応援するとともに、将来の進路が切り拓けるような丁寧な指導をします。考える力、表現する力を大切に、これからの社会を生きていくための基礎力を培います。					
	(1) 主体的に目標を定め、何事にも意欲的・探究的に取り組む力を育成します。 (2) 自他を尊重する心と自らを律する心を備えた人材を育成します。 (3) 社会性や公共心、使命感を培い、地域・社会の一員として貢献できる人材を育成します。 (4) 他者と協働しながら自らの答えを見いだしていく思考力・判断力・表現力等を育成します。					
〈求める生徒像〉 (1) 互いを認め、協働し、高め合いながら成長しようとする生徒 (2) 基礎的な学力を有し、意欲的に学び続ける生徒 (3) 部活動や生徒会活動等に積極的に取り組み、勉学との両立に努力する生徒 (4) 進んで集団に貢献しようとする意欲のある生徒						
学校独自型選抜	募集枠	20 %				
	中学校長 推薦	推薦要件	本校を志望する明確な意思があり、個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が96以上で、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 入学後も意欲的に学習に取り組み、自らの進路実現に向けて主体的に行動できる者 b 生徒会活動や体育的活動・文化的活動において優れた実績や能力を有し、入学後も継続して活動に打ち込む意欲のある者			
		学校独自検査	小論文			
	配点	小論文 100点	個人調査報告書 400点	学力検査 500点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 700点			個人調査報告書 300点	
		〈備考〉 ・特記事項なし				

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 湖南農業高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 農業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会に貢献し活躍できる能力(知識・技術)を持った人材を育成します。 ・適正な勤労観や職業観を身につけ、課題に主体的・協働的に対応できる人材を育成します。 ・地域農業や関連産業で活躍でき、自ら学ぶ意欲と豊かな感性と自立の精神を持った人材を育成します。 ・人権を尊重し、人権問題を解決する意欲と実践力を持った人材を育成します。 〈求める生徒像〉 本校では農業教育をとおして基礎基本の定着のもと実践から得られる忍耐力や勤勉さを強みにして「地域社会で働く人」、「地域社会に貢献する人」、「将来の夢を実現する人」の育成を目指しています。そのため、農業(植物や食品、環境等)の学習に興味・関心があり、将来の進路実現に向け、目的意識をもって、何事にも真面目に意欲的に取り組むことができる生徒を求めています。						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	中学校長 推薦	推薦要件	次のa、b両方の要件を満たす者 a 農業(植物や食品、環境等)の学習に興味・関心があり、将来の進路実現に向け、目的意識を持って、何事にも真面目に意欲的に取り組むことができる者 b 中学校等での活動条件(体育活動実績、文化活動実績、生徒会活動実績等のうち1つ以上)で顕著な成績や実績を持つ者				
		学校独自検査	面接				
	配点	面接 100点	個人調査報告書 700点	学力検査 200点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
〈備考〉 ・大会結果や生徒会活動等の実績および資格・検定等の取得実績は「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 守山高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	豊かでたくましい心身の育成と確かな学力の伸長に努め、21世紀に求められる智慧(ちえ)と人格(こころ)をそなえた、わが国および国際社会の進展に貢献できる人間を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①多様な意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできる生徒 ②困難に立ち向かい新しいことにチャレンジしようとする生徒 ③知的好奇心と向学心を持ち、目標に向かって粘り強く努力できる生徒 ④文武両道をめざし、学習、部活動、学校行事等に主体的に意欲をもって取り組める生徒					
学校独自型選抜	募集枠	10 %				
	中学校長推薦	推薦要件	次のa～cのすべての要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が40以上の者 b 大学等へ進学する強い意志と明確な目的意識を持ち、その目的達成に最大限の努力をする者 c 部活動および対外的な活動や交流などに積極的に参加し活動するなど、学校のリーダーとして他の生徒の模範となる活躍が期待できる者			
		学校独自検査	志望理由書、面接			
		配点	志望理由書 100点	面接 100点	個人調査報告書 300点	学力検査 500点
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
		学力検査 800点			個人調査報告書 200点	
	配点					
〈備考〉 ・大会結果や生徒会活動等の実績および資格・検定等の取得実績は「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 守山北高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	①未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する ②地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する ③地域と連携したキャリア教育を推進するとともに、多様なニーズに応じた教育課程を展開することで、進路希望を実現するために必要な力を育成する 〈求める生徒像〉 ・基本的な生活習慣が身につけており、学業や部活動など何事にも一生懸命意欲的に行動できる人 ・他者への思いやりと正しい規範意識を持ち、リーダー性がある人								
学校独自型選抜	募集枠	50 %							
	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 体育的活動や文化的活動、生徒会活動で目標と意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者 b 学習に対し意欲的に取り組み、自分の将来の進路について、目的意識を持つ者						
		学校独自検査	面接、作文						
	配点	面接 100点	作文 100点	個人調査報告書 500点	学力検査 300点				
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1		
	配点		学力検査 500点			個人調査報告書 500点			
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。									

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 守山北高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 みらい共創科

スクール・ポリシー (学科の特色)	①未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する ②地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する ③地域と連携したキャリア教育を推進するとともに、多様なニーズに応じた教育課程を展開することで、進路希望を実現するために必要な力を育成する ④自分の興味・関心に合わせた探究的な学びや地域での実務体験等を重ねながら、自らみらいを切り拓く力を育成する 〈求める生徒像〉 ・基本的な生活習慣が身についており、好奇心旺盛で、ものごとを深く考えたり試行錯誤しながら様々な角度から学習したりすることに興味・関心がある人 ・何事にも一生懸命で、他者への思いやりと正しい規範意識を持ち、リーダー性がある人					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 生徒会活動や地域課題の解決に意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者 b 学習に対し意欲的に取り組み、自分の将来の進路について、目的意識を持つ者 c 体育的活動や文化的活動で目標と意欲を持ち、入学後も積極的な活動が期待できる者			
	学校独自検査	面接、作文				
	配点	面接 150点	作文 100点	個人調査報告書 500点	学力検査 250点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 500点			個人調査報告書 500点	
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 栗東高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・礼節を学ぶ生活指導と行事や部活動を通じた人間力の育成を図る ・わかる授業の展開と放課後学習支援活動ルーム「友愛」による学習サポートの充実を図る ・地域社会と交流しながら地元へ貢献する姿勢の育成を図る 〈求める生徒像〉 ①学業と、スポーツ・芸術活動の両立を図りながら高校生活を送ることができる生徒 ②人を思いやる気持ちを持って行動できる生徒						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	自己推薦	出願要件	本校普通科で学ぶ強い意欲を持ち、次のa～cのいずれかの要件に該当する者 a 中学3年間で校内外の課外活動に取り組んだ者で、各種大会等への出場を証明できる写しを添付できる者 b 資格や特技があり、それを証明できる写しを添付できる者 c 高校の3年間で取り組みたいことが明確な者				
		学校独自検査	面接				
	配点	面接 100点	活動実績報告書 650点	個人調査報告書 250点	学力検査 250点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
	〈備考〉 ・出願要件 a、bについては、それを証明できる写しを提出すること。 ・大会結果や生徒会活動等の実績および資格・検定等の取得実績は「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 栗東高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 美術学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・本県の美術活動の中心としての自覚を促し、美術文化の発展に寄与する態度や能力の育成を図る ・恵まれた設備環境の中で、美術学科独自の行事や取り組みを通じて生徒個々の個性を伸長する 〈求める生徒像〉 ①美術的な活動に強い意欲と関心を持ち、学業との両立を図りながら高校生活を送ることができる生徒 ②本県の美術活動の中心としての自覚を持ち、取り組める生徒				
学校独自型選抜	募集枠	100 %			
	自己推薦	出願要件	本校美術学科で学ぶ強い意欲を持ち、次のa～cのいずれかの要件に該当する者 a 中学時代各種コンクールなどで入賞などの実績があり、それを証明する写しを添付できる者 b 資格や特技があり、それを証明できる写しを添付できる者 c 美術的分野に強い興味・関心があり専門的な勉学を希望する者		
	学校独自検査	実技検査			
	配点	実技検査 150点	活動実績報告書 350点	個人調査報告書	学力検査 500点
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1 英語 1
	配点	学力検査 500点		個人調査報告書 500点	
〈備考〉 ・実技検査は「デッサン」とする。 ・二次募集においても、学校独自型選抜の内容に準ずる実技検査を行う。 ・出願要件a、bについては、それを証明できる写しを提出すること。 ・大会結果や生徒会活動等の実績および資格・検定等の取得実績は「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。					

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 国際情報高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	地域を大切にし、地域から必要とされる人材育成を目指し、特に英語をツールとして利用できる技術者、職業人を育成します。そのために、持続可能な開発目標（SDGs）、地域貢献をテーマとした課題研究等の探究活動、中学校等と連携した実践的な英語教育と人権教育を重視するなど、グローバルコミュニケーション能力を高める地域の拠点校としての教育を充実するとともに、自らが社会へどのように貢献できるか、役割を発見し自己肯定感を高める教育を目指します。						
	〈求める生徒像〉 ①進路の決定に必要な情報を積極的に収集し、的確な分析や検討を行って自身の将来の姿を見据えることができる生徒 ②資格・検定の取得に意欲的に取り組み、確かな専門知識を身に付けたスペシャリストを目指す生徒 ③技術・技能を身に付け、さらに、コミュニケーション能力やプレゼン力を活かしてグローバルな活躍を目指す生徒 ④国際交流に関心を持ち、異文化に対し理解のある生徒						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	中学校長推薦	推薦要件	基本的な生活習慣が身に付いており、総合学科の教育内容やその趣旨を理解して学校生活に意欲的に取り組める者で、かつ、次のa～dのいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者 b 英会話やものづくりなど、本校各系列の教育内容に合致した分野における適性や優れた能力を持つ者 c 文化的・体育的活動に積極的に取り組み、リーダーとして入学後も活躍が期待できる者 d 次のいずれかの資格や成績を有する者 ・ 実用英語技能検定 準2級以上 ・ TOEIC 385点以上 (L&R 225点以上、S&W 160点以上) ・ TOEFL iBT 42点以上 ・ GTEC Core 690点以上				
	学校独自検査	作文					
	配点	作文 100点	個人調査報告書 600点	学力検査 300点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 600点		個人調査報告書 400点		
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 水口高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	県下有数の伝統校として、地域に貢献する人材を育成し、豊かな人間性と教養、たくましさを備え、社会で活躍できる生徒を育てます。					
	〈求める生徒像〉 ①本校の校訓（醇厚・中正・自彊・進取＝かたよらない あたたかな心で 自ら進んで 努力しよう）が目指すところを理解し、実践できる生徒 ②他者への思いやりの心を持った、向学心にあふれた生徒 ③地域に関心を持ち、将来地域社会に貢献しようとする生徒					
学校独自型選抜	募集枠	10 %				
	中学校長 推薦A	推薦要件	本校に対する明確な志望動機と大学への進学や英語の学習に対して強い意欲があり、入学後も学業に励む強い意志を持つ者。なお、入学後、特進クラスまたは国際文化コースに在籍することが望ましい			
		学校独自検査	面接			
		配点	面接 200点	個人調査報告書 500点	学力検査 300点	
	募集枠	25 %				
	中学校長 推薦B	推薦要件	本校に対する明確な志望動機とスポーツ活動の実績や高い競技能力を持ち、入学後も部活動で競技をする意志の強い者			
		学校独自検査	面接			
		配点	面接 200点	個人調査報告書 500点	学力検査 300点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 600点			個人調査報告書 400点	
		〈備考〉 ・特記事項なし				

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 水口東高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	「われらに意気と誇りあり、われらに愛と誠あり、われらに信と力あり」の校歌の理念のもと、将来を力強く切り拓いていける人材の育成を目指します。自ら学ぶ姿勢を育むきめ細やかな学習活動、活発な部活動や自主活動、そして進路実現のための丁寧な関わりで夢の実現をサポートします。 〈求める生徒像〉 ・「やってみたいこと」を見つけて、自己探究し続けられる生徒 ・「もっと知りたいこと」をたくさん見つけられる生徒 ・「伝えたいこと」を自分の言葉でしっかりと伝えられる生徒					
学校独自型選抜	募集枠	25 %				
	中学校長推薦	推薦要件	本校を志望する強い意志があり、個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が36以上であり、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 本校入学後リーダーとしての活躍が期待できる者 b 部活動等に熱心に取り組み、十分な成果を上げ、入学後も熱心に活動を続け技術や能力等の向上に取り組む者 c 地域の課題解決に向け意欲をもって取り組み、校内外の発表やコンクールへの応募などで成果を上げ、入学後も熱心に活動を続ける者			
	学校独自検査	面接				
	配点	面接 100点	個人調査報告書 600点	学力検査 300点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点		
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 甲南高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	地域との連携を積極的に行い、礼儀やマナーを身につけ、勤労を尊ぶ精神を持ち、地域に貢献できる人材の育成を目指す。そのために4つの系列(生物と環境、バイオとかがく、食と健康、福祉と保育)において体験学習を十分に活かし、将来の職業選択を見据えたキャリア教育を実践する。 授業や実習、学校行事や部活動等に仲間と共に積極的に取り組み、他者を思いやり、お互いを尊重し合う関係を構築する。この地域を支える人材を育て、地域と共に発展していく学校を目指す。 〈求める生徒像〉 ・本校総合学科に興味・関心があり、入学後も目的意識と熱意を持って、学習や学校行事・部活動等に仲間と共に積極的に取り組み、目標達成に向けて努力する生徒。 ・社会や地域に関心を持ち、地域社会に貢献しようとする意欲的な生徒。 ・他者を思いやり、お互いを尊重し合う気持ちを持った生徒。						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	自己推薦	募集人数 ・ 出願要件	募集人数：5人 本校を志望する明確な意思があり、向上心と目的意識を持って高校生活を送れ、かつ、次のa～cのすべての要件を満たす者 a スポーツ・文化活動等において中学生時代に部活動や所属団体(スポーツクラブや文化クラブ)等で3年間継続的に活動し、県レベルの大会で上位入賞や強化・選抜選手への選出、またはそれに該当するめざましい活動をしている者 b 心身共に健康で、他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮できる者 c 自身の向上を目指して、自己の適性と能力に応じて適性と能力を知り、計画的に学習できる者				
		学校独自検査	面接				
	配点	面接	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査		
		50点	500点		450点		
	中学校長推薦	推薦要件	本校を志願する明確な意思があり、向上心と目的意識を持って高校生活を送れ、かつ、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 自分自身の適性と能力を知り、計画的に学習できる者 b 心身共に健康で、他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮できる者 c スポーツ・文化活動等においてにめざましい活動をしている者				
		学校独自検査	面接				
		配点	面接	個人調査報告書	学力検査		
50点	500点		450点				
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語	数学	社会	理科	英語
	配点		学力検査		個人調査報告書		
	500点		500点			500点	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 信楽高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	未来を切り拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力や伝える力、協働する力、創造する力など生きる力を育成します。伝統産業「信楽焼」を活かした学びによって、地域の活性化に貢献しながら、ものづくりの精神を学び、地域に誇りと愛着を持ち、地域課題の解決に積極的に取り組む人材を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ・本校の総合学科の内容や趣旨を理解し、各系列での学びを大切にする生徒 ・将来に対する目的意識を持って様々な活動に熱心に取り組む意欲がある生徒 ・様々な活動に努力を惜しまず、自ら未来を切り拓く意志がある生徒					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	中学校長推薦	推薦要件	募集人数：5人【全国募集】 次のa～cのすべての要件を満たす者 a 他都道府県から志願する者で、信楽地域の伝統産業に関わるセラミックやデザインに強い興味・関心があり、将来に対する目的意識が明確で、基本的な学習習慣や生活習慣が身についている者 b 個人調査報告書における「美術」の3年間の評定平均が3.0以上の者 c 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が20以上の者			
		学校独自検査	面接、作文			
	配点	面接	作文		個人調査報告書	
		200点	200点		600点	
	中学校長推薦	推薦要件	本校を志望する明確な意志を持ち、基本的な生活習慣が身についており、本校の「総合学科」の内容や趣旨を理解し、かつ、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a セラミックやデザインまたは美術に強い興味・関心があり、将来に対する目的意識が明確な者 b 進学等に向けての目的意識が明確で、その達成に向けて努力する者 c 体育的活動・文化的活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動に打ち込む強い意志のある者			
学校独自検査		面接				
配点		面接	個人調査報告書		学力検査	
	200点	600点		200点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 500点			個人調査報告書 500点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 野洲高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	社会で生きるために必要となる確かな学力や他者と協働する力を養うとともに、社会の一員として地域を理解し、課題解決に貢献できる探究力と実践力を育成します。 〈求める生徒像〉 ①学習に真摯に取り組み、自己を成長させようという意欲のある生徒 ②高い規範意識をもって、仲間と協働して主体的に活動に取り組める生徒 ③部活動に取り組み、本校でも継続して活動する意欲の高い生徒					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	自己推薦	募集人数 ・ 出願要件	募集人数：【サッカー】20人(男子) 【硬式野球】15人(男子) 本校志望の意思が強く、次の各競技において、aの要件を満たし、かつ、b～dのいずれかの要件に該当する者 【サッカー】 a 本校入学後、サッカー部に所属して、3年間継続して活動を続け、活躍する意思を持つ者 b 県選抜チームや県トレセン、地区トレセンに選ばれて活動をしていた者 c 県大会上位進出チームに所属し、正選手として出場した者 ・県中学校体育大会ベスト8以上 ・県サッカー協会主催大会ベスト16以上 d 競技能力に優れた者 【硬式野球】 a 本校入学後、硬式野球部に所属して、3年間継続して活動を続け、活躍する意思を持つ者 b 県中体連主催大会ベスト8以上の成績を収めた者 c 所属クラブチームの団体・連盟(県支部)主催大会でベスト8以上の成績を収めた者 d 競技能力に優れた者			
	学校独自検査	面接、実技検査				
	配点	面接 150点	実技検査 400点	活動実績報告書 300点	個人調査報告書 150点	
	中学校長 推薦	推薦要件	本校志望の意思が強く、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 学習意欲と規範意識が高く、何事にも意欲的に取り組む者 b 基本的生活習慣が身につけられており、地域課題の解決に意欲を持つ者			
		学校独自検査	面接			
		配点	面接 100点	個人調査報告書 600点	学力検査 300点	
	一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1
		配点	学力検査 700点		個人調査報告書 300点	
		英語 1				
〈備考〉 ・【実技検査(サッカー)】①パス&コントロール(全員同時実施)、②ドリブルシュート(一人ずつ順番に実施) ③クロスからのシュート(役割を変えながら順番に実施) ・【実技検査(硬式野球)】①ベースランニング(一人ずつ順番に実施) ②キャッチボールおよびゴロ捕球からのスローイング(一人ずつ順番に実施) ③ロングティーバッティング(一人ずつ順番に実施) ・学校独自型選抜における自己推薦について、【サッカー】および【硬式野球】の出願要件bもしくはcに該当する受検者は、そのことを証明するものを提出すること。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 石部高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	① 地域と連携・協働した実践的な体験学習等によって、子どもから高齢者まで全ての人々が健康で安心して暮らせる持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成します。 ② 学習の基礎・基本を大切に基礎学力の向上に向けた取組を進める中で、習得した思考力・判断力・表現力を用いた適切な判断ができる能力を育成します。 〈求める生徒像〉 ① 学習に意欲的で、主体的に行動できる人 ② 部活動に取り組み、本校でも継続して活動する意欲の高い人 ③ 福祉や健康分野に興味・関心があり、多様な学習活動に意欲のある人						
学校独自型選抜	募集枠	50 %					
	中学校長推薦	推薦要件	本校への入学についての明確な志望動機があり、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 学習意欲と規範意識が高く、主体的に行動できる者 b 部活動等に熱心に取り組み、十分な成果を上げ、技術の向上に努めている者 c 福祉や健康に対する強い関心と興味を持ち、将来福祉分野、健康分野に関わる仕事に就きたいと考えている者				
		学校独自検査	面接				
	配点	面接 200点	個人調査報告書 500点	学力検査 300点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 甲西高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・校訓「力行(りょっこう):何事にも全力で取り組むこと」の精神のもと、学習活動と課外活動(部活動等)の両立を応援し、【確かな学力と人間力(高いコミュニケーション能力や主体性、規範意識、思いやりや感謝の心等)を持った、将来、地域のリーダーとして社会に貢献できる生徒】を育成します。 ・進路志望に適したカリキュラムを設定し、ICTを効果的に活用して協働的に伸び伸びと学ぶ授業を行います。また、地域や大学、企業等と連携し、きめ細かな進路指導で生徒の自己実現を支援します。 ・「さわやか甲西」の伝統のもと、落ち着いた環境で安心して仲間と共に学び、活動することを通し、基本的な生活習慣や礼儀を身に付け、社会で求められる資質・能力を育てます。					
	〈求める生徒像〉 ・校訓「力行」の精神に共感し、主体的に何事にも全力で取り組む意欲と活力のある生徒 ・学習と課外活動(部活動等)の両立に、まじめに継続して取り組む意欲と強い意志のある生徒 ・地域や社会に関心を持ち、地域等の課題解決に向け、自分たちに何ができるかを考え、分析し、学校外でも活動するなどして探究的に学ぶ意欲のある生徒					
学校独自型選抜	募集枠	40 %				
	中学校長推薦A	推薦要件	本校への志望の意志が強く、継続して努力を重ね、優秀な成績や実績を残した者で、次のa、b両方の要件に該当する者 a 学習意欲と規範意識が高く、主体的・協働的に行動できる者 b 学習面において優秀な成績を残した者で、4年制大学等への進学を希望し、本校入学後はSSクラス(特別進学クラス)で勉学に励む意志を持つ者			
		学校独自検査	面接			
		配点	面接	個人調査報告書	学力検査	
		100点	600点	300点		
	中学校長推薦B	推薦要件	本校への志望の意志が強く、継続して努力を重ね、優秀な成績や実績を残した者で、次のaの要件に該当する者で、bのいずれかの実績を有することが望ましい a 本校入学後、本校の次の部に所属して3年間継続して活動を続け、活躍する強い意志を持つ者 ・硬式野球部(男子)、サッカー部(男子)、卓球部(男子・女子)、バレーボール部(男子)、ソフトテニス部(男子・女子)、吹奏楽部(男子・女子) b 以下のいずれかの実績を有することが望ましい ・県中学校体育大会上位入賞(ベスト4以上) ・近畿中学校体育大会、全国中学校体育大会、国民体育大会(国民スポーツ大会)等に出場 ・滋賀県吹奏楽コンクールにおいて銀賞以上を受賞			
		学校独自検査	面接			
		配点	面接	個人調査報告書	学力検査	
		100点	600点	300点		
	一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科
1			1	1	1	1
配点		学力検査			個人調査報告書	
	600点			400点		
〈備考〉 ・大会結果等の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 高島高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	教育基本法および学校教育法の精神に則り、人格を陶冶し、教養を高め、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、平和な国家社会の建設的な形成者を育成する。特に、能力・適性・進路に応じて、自主的・継続的努力の喜びを体験させる教育の実現に努める。					
	〈求める生徒像〉 <ul style="list-style-type: none"> ● 本校の多様な学びに積極的かつ意欲的に取り組むことができる生徒 ● 部活動等の特別活動と学習との両立に励み、『文武両道』を実現することに努力できる生徒 ● 社会や地域の課題に関心を持ち、それを解決することに貢献したいという意欲を持つ生徒 ● 個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力し、失敗を恐れず挑戦できる生徒 ● 他者を思いやり、公共心あふれる生徒 					
学校独自型選抜	募集枠	20 %				
	自己推薦	募集人数・出願要件	募集人数：5人 本校普通科志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が30以上の者 b 部活動またはクラブチーム等での活動（運動活動）において県大会ベスト8以上の成績を残してきた者で、本校において、さらに継続して当該活動に取り組む強い意志のある者			
		学校独自検査	小論文			
	配点	小論文	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査	
		200点	300点		500点	
	中学校長推薦	推薦要件	本校普通科志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、自分の進路に対して目的意識を持ち、入学後も他の生徒を牽引して本校での活躍が期待できる者で、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 部活動において優れた成績を残してきた者で、本校において、さらに継続して取り組む強い意志のある者 b 生徒会活動に熱心に取り組む、本校において、さらに継続して取り組む強い意志のある者 c 資格試験や検定試験等の取得に励み、取得実績のある者			
		学校独自検査	小論文			
		配点	小論文	個人調査報告書	学力検査	
	200点		300点	500点		
	一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科
1			1	1	1	1
配点		学力検査			個人調査報告書	
		800点			200点	
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 高島高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 文理探究学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	教育基本法および学校教育法の精神に則り、人格を陶冶し、教養を高め、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、平和な国家社会の建設的な形成者を育成する。特に、能力・適性・進路に応じて、自主的・継続的努力の喜びを体験させる教育の実現に努める。					
	〈求める生徒像〉 <ul style="list-style-type: none"> ● 本校の多様な学びに積極的かつ意欲的に取り組むことができる生徒 ● 部活動等の特別活動と学習との両立に励み、『文武両道』を実現することに努力できる生徒 ● 社会や地域の課題に関心を持ち、グローバルな視点から課題解決をするとともに、世界に発信する意欲を持つ生徒 ● 個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力し、失敗を恐れず挑戦できる生徒 ● 他者を思いやり、公共心あふれる生徒 					
学校独自型選抜	募集枠	30 %				
	自己推薦	募集人数・出願要件	募集人数：5人以内 本校文理探究科志望の意志が強く、社会や地域の課題に関心を持ち、課題の解決等を目的とした探究的な学習に積極的に取り組む意欲が旺盛で、次のa～dのいずれかの要件を満たす者 a 英検準2級以上(またはCEFR A2相当の英語技能ランク以上)、漢検準2級以上、数検準2級以上のいずれかを有する者 b 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が30以上の者で、英検3級以上(またはCEFR A1相当の英語技能ランク以上)、漢検3級以上、数検3級以上のいずれかを有する者 c 文部科学省あるいは、滋賀県教育委員会が主催または後援する「理数系の校外コンテスト、英語の校外スピーチコンテスト、読書感想文コンクール」への県大会(県審査)規模以上の出場経験のある者 d ITパスポート試験、基本情報技術者試験、またはそれと同等以上の情報(ICT)に関連する資格を有する者			
		学校独自検査	小論文			
		配点	小論文	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査
		200点	300点		500点	
	中学校長推薦	推薦要件	本校文理探究科志望の意志が強く、社会や地域の課題に関心を持ち、課題の解決等を目的とした探究的な学習に積極的に取り組む意欲が旺盛で、次のaの要件を満たし、かつ、b、cのいずれかの要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が35以上の者、または、3年生の国語、社会、数学、理科、英語の評定合計が17以上の者 b 本校の探究学習に意欲的に取り組む者 c 部活動等の特別活動と学習との両立に励む者			
		学校独自検査	小論文			
		配点	小論文	個人調査報告書	学力検査	
		200点	300点	500点		
	一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科
		1	1	1	1	1
配点		学力検査			個人調査報告書	
	800点			200点		
〈備考〉 ・一般型選抜における出願は、学校出願とする。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 安曇川高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	生徒一人ひとりの個性や適性、興味・関心に応じた幅広い学びの機会と、地元企業や地域住民等と連携したキャリア教育を通して、次代を担う産業人材に求められる資質・能力や郷土への愛着を育みます。また、少人数での協働的な学び、地域をフィールドとした実践的な学び、系列での専門的な学びを通して、探究心旺盛でかつ行動力と豊かな人間性を備えた未来志向の地域リーダーを育成します。 〈求める生徒像〉 ①他者を尊重し、協働して粘り強く努力することができる生徒 ②今までとは違う新しい自分に出会いたいと考えている生徒 ③地域と連携した活動に関心を持ち、将来は地域社会に貢献したいと考えている生徒 ④これまで部活動や生徒会活動などに積極的に取り組み、入学後も意欲的に取り組むことができる生徒 ⑤これからの学習に主体的・意欲的に取り組む意思を持っている生徒					
学校独自型選抜	募集枠	30 %				
	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、基本的な生活習慣が身につけており、学校生活に意欲的に取り組む者で、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 総合学科の多様な学習に興味・関心および意欲を有し、特色ある選択科目の学習を通して進路希望の実現を図ろうとする者 b 体育的活動や文化的活動および生徒会活動等に積極的に取り組んだ者で、入学後も活躍が期待できる者			
		学校独自検査	面接、作文			
	配点	面接 120点	作文 200点	個人調査報告書 180点	学力検査 500点	
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 600点		個人調査報告書 400点		
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八日市高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、2つの校訓である「自彊不息(じきょうやまず)」(自ら努め励むこと)と「自主協同」(自ら考え、他者と協同して事を進めること)を大切にしています。自由で伸びやかな雰囲気の中で、学習活動と生徒会活動・部活動との両立を果たそうとする生徒に、確かな学力を身につける熱心な教科指導と一人ひとりの志望に応じた丁寧な進路指導を行っています。						
	〈求める生徒像〉 ①自分をより高めるために努力を続ける生徒 ②自ら考え行動できる生徒 ③学習活動と課外活動との両立を果たそうとする生徒 ④人間を尊重する精神をもち、社会貢献の意識が高い生徒						
学校独自型選抜	募集枠	10 %					
	中学校長推薦	推薦要件	次のaの要件を満たし、かつ、b、cのいずれかの要件に該当する者 a 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が37以上で、入学後、学習活動や生徒会活動・部活動等に意欲的に取り組むと期待される者 b 生徒会の会長もしくは副会長、部活動における部長(主将)もしくは副部長(副主将)を経験した者、または中学校外での勤労生産・奉仕・社会活動等の分野で、自発的かつ長期的に活動し、個人または団体のリーダーとして、その活動が客観的に極めて高く評価される実績を有している者 c スポーツ活動や文化芸術活動等に関して実績のある者 《スポーツ活動》以下の基準1または2に該当する者 1 中学校体育連盟主催等の大会において、近畿大会規模以上の上位大会に出場した者 2 中学校体育連盟等から県代表として選抜され、全国規模の予選大会に出場した者 《文化芸術活動》以下の基準に該当する者 中学校の部活動で参加した大会(コンクール・展覧会)において、近畿大会規模以上のコンクール・展覧会に出場あるいは出品を認められた者				
			学校独自検査	小論文			
	配点	小論文 100点	個人調査報告書 400点	学力検査 500点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 800点			個人調査報告書 200点	
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 能登川高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、県内で唯一の多部制の総合単位制普通科高校で、学ぶ目的やライフスタイルに対応した柔軟な教育活動を展開し、生徒の希望する進路を実現する学校です。目的・目標や向上心を持ち高校生活を前向きに送ろうとする生徒を求めます。 〈求める生徒像〉 ・単位制の教育システムを生かして自らが主体的に学びを進め、自身の目標に向かって努力することができる生徒 ・基本的な生活習慣が確立され、高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った生徒 ・ルールを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、様々な立場の人とともに学び、行動できる生徒						
学校独自型選抜	募集枠	30 %					
	中学校長推薦	推薦要件	基本的な生活習慣が確立されており、ルールを正しく守る生徒で、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 学業への意欲が旺盛で、主に4年制大学や看護・医療系分野などへの進学を強く希望する者 b 基本的な生活習慣が確立されており、部活動や生徒会活動など高校生活を有意義かつ積極的に送ろうとする強い意志を持ったリーダーとして活躍が期待できる者				
		学校独自検査	面接				
	配点	集団面接 200点	個人調査報告書 600点	学力検査 200点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 600点		個人調査報告書 400点		
〈備考〉 ・特記事項なし							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 八日市南高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 農業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	◎ 職業教育を通して、地域社会の一員として活躍できる良識ある人材を育成します。 ◎ 命を育み、いただく農業教育を通して、自他を大切にす豊かな心を育成します。 ◎ 将来につながる確かな基礎学力を身につけ、生涯学び続ける力を育成します。 ◎ 周りとは協働しながら様々な課題を見つけ、解決する力を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ★ 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心を持ち、地域社会に貢献したいという意欲のある生徒 ★ 思いやりや、公共心にあふれた生徒 ★ 学ぶ意欲を持ち続け、真面目、誠実に努力する生徒 ★ 体育祭や文化祭等の学校行事、農業クラブ活動(農業を学ぶ全国の高校生がクラブ員となり行う様々な学習活動)や部活動に積極的に参加する生徒					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	自己推薦	募集人数 出願要件	【カヌー】募集人数：3名以内(男女問わず) 本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れる者のうち、次のa、b両方の要件を満たす者 a 県、市町やカヌー競技団体が主催するカヌー競技会に参加したことがある者(参加予定の者を含む)、または県、市町やカヌー競技団体が主催する競技力向上を目的としたカヌー教室などに参加したことがある者(参加予定の者を含む)で、入学後も3年間カヌー部の活動を続ける意志があり、リーダーとして活躍することが期待できる者 b 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心をもち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 【硬式野球】募集人数：7名以内(男子) 本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れる者のうち、次のa～cのすべての要件を満たし、かつ、dのいずれかの要件を満たす者 a 個人調査報告書における3年間の9教科の評定合計が65以上の者 b 入学後も3年間硬式野球部の活動を続ける意志がある者 c 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心をもち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 d ・夏季中体連で県ベスト16以上の成績を収めている者 ・春季中体連、秋季中体連で地区ベスト4以上の成績を収めている者 ・所属する連盟の大会について地区ベスト4、県ベスト8、近畿または関西ベスト16以上の成績を収めている者 ・県の選抜チームまたは強化選手に選出経験がある者 ・チームの主将を務めている者			
	学校独自検査	面接、実技検査				
	配点	面接 150点	実技検査 50点	活動実績報告書 500点	個人調査報告書 300点	
学校独自型選抜	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で時間やルール等がしっかり守れる者のうち、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 動物、植物、食品および自然環境に興味・関心をもち、将来本校で学んだことを生かして社会に貢献することを望んでいる者 b 生徒会、学級、文化芸術、体育、ボランティア等の活動で顕著な成績や実績を収め、入学後も学校のリーダーとして活躍が期待できる者			
		学校独自検査	面接			
	配点	面接 150点	個人調査報告書 550点	学力検査 300点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 500点			個人調査報告書 500点	
〈備考〉 【実技検査(カヌー)】運動能力を測る検査(シャトルラン、握力等)および競技力を測る検査(エルゴメーター、パドリングフォーム等) 【実技検査(硬式野球)】運動能力を測る検査(握力、上体起こし、反復横とび、シャトルラン等) ※dの要件を満たしていることを証明する書類を提出すること。 ※学校独自型選抜で、部活動や生徒会活動等の顕著な実績を「活動実績報告書」「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 伊吹高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	校是『当たり前のことをあたりまえに』のもと、「自分で考え行動できる生徒」「時間を守り、礼儀正しく、挨拶ができる生徒」「郷土を愛し、地域社会に貢献できる生徒」「相互の人格を重んじ、学業と部活動に精励する生徒」を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ①本校の取り組みに興味・関心を持ち、積極的に取り組む意欲の旺盛な生徒 ②学業と体育・文化活動等の両立を極めようとする生徒 ③地域の魅力に着目し、地域と共に歩み、発展させようとする生徒					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	自己推薦	募集人数・出願要件	募集人数：20人 本校を志望する意志が強く、基本的な生活習慣が身につけており、意欲的に学習に取り組む生徒で、次のa～cのすべての要件を満たす者 a 学習成果が優れている者 b 入学後は学力発展クラスで学ぶ意志があり、大学等に進学する目的意識が明確な者 c 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が30以上の者			
		学校独自検査	作文			
	配点	作文	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査	
		200点	500点		300点	
	中学校長推薦	推薦要件	本校を志望する意志が強く、基本的な生活習慣が身につけており、意欲的に学習に取り組む生徒で、次のa、b両方の要件を満たす者 a 優れた運動能力や適性を持っている者 b 次の強化指定部【サッカー(男)、ホッケー(男女)、野球(男)、バレーボール(男)、バスケットボール(女)]で3年間活動する意志がある者			
		学校独自検査	面接			
		配点	面接	個人調査報告書	学力検査	
400点	400点		200点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1.2	1	1.2	1	1
	配点	学力検査		個人調査報告書		
	600点	400点				
〈備考〉 ・活動実績報告書には、教科以外の課外活動における成果や資格検定、また探究活動などにおける実績や役割を書くこと。 ・大会結果や生徒会活動等の実績を「個人調査報告書」の配点に含めて評価する。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 米原高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	「清純敦厚」(清らかで素直、誠実で情に厚いこと)の校訓のもと、授業や課外活動を通して、確かな学力と豊かな心を育む。普通科には「普通類型」と「英語コース」があり、「普通類型」は文系にも理系にも対応した教育課程が特徴である。「英語コース」は国際社会や大学進学に適応する高度な英語力を養成する。 一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生徒・保護者・同窓生・地域の期待に応える教育を実現する。 〈求める生徒像〉 ・本校への入学意志が強く、入学後向上心をもって高校生活に取り組む生徒。 ・四年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組む生徒。 ・お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図る生徒。						
学校独自型選抜	募集枠	30 %					
	中学校長推薦	推薦要件	本校の特色をよく理解する者のうち、本校を志望する意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa～dのすべての要件を満たす者で、かつ、eの要件を満たす者が望ましい a 入学後向上心をもって高校生活に取り組める者 b 4年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組める者 c お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図ろうとする者 d 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が37以上の者 e 以下のいずれかの資格や成績等を有する者 ・英検(1級、準1級、2級、準2級プラス、準2級)、TOEICやTOEFLにおける英検各級と同等スコア ・校外における各種英語スピーチコンテスト(英語弁論大会)入賞				
	学校独自検査	小論文					
	配点	小論文 150点	個人調査報告書 350点	学力検査 500点			
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点		学力検査 800点		個人調査報告書 200点		
〈備考〉 ・一般型選抜については学校出願とする。 ・学校独自型選抜での学力検査の各教科の配点は、一般選抜と同様の割合とする。							

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 米原高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 理数学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	県下初の理数科として設置され、多くの卒業生が科学技術者として活躍している。充実した設備を利用して実験・実習・演習を中心とした授業を行い、自然科学を系統的に学べるように工夫している。将来、科学技術系への進学をめざす生徒に最適である。また、理数科ならではの行事も豊富にある。					
	一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生徒・保護者・同窓生・地域の期待に応える教育を実現する。 〈求める生徒像〉 ・本校への入学意志が強く、入学後向上心をもって高校生活に取り組む生徒。 ・四年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組む生徒。 ・お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図る生徒。 ・好奇心や探究心が旺盛で、自らの学びを主体的に深めようとする生徒。					
学校独自型選抜	募集枠	30 %				
	中学校長推薦	推薦要件	本校の特色をよく理解する者のうち、本校を志望する意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa～dのすべての要件を満たす者で、かつ、eの要件を満たす者が望ましい a 入学後向上心をもって高校生活に取り組める者 b 4年制大学等への進学を希望し、意欲的に学習に取り組める者 c お互いの人格を尊重し、他者との関わりを通して自己の成長を図ろうとする者 d 個人調査報告書における3年生の9教科の評定合計が37以上の者 e 以下のいずれかの資格や成績、経験等を有する者 ・英検(1級、準1級、2級、準2級プラス、準2級)、TOEICやTOEFLにおける英検各級と同等スコア ・理数系コンテストや同等の大会に出展・応募した者			
	学校独自検査	小論文				
	配点	小論文 150点	個人調査報告書 350点	学力検査 500点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1.2	社会 1	理科 1.2	英語 1
	配点	学力検査 800点			個人調査報告書 200点	
		〈備考〉 ・一般型選抜については学校出願とする。 ・学校独自型選抜での学力検査の各教科の配点は、一般選抜と同様の割合とする。				

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 日野高等学校

〈課程〉 全日制

〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・自ら考え、探究し、学びに向かう ・多様な価値観を持つ人々と対話し、協調・協働する ・地域に根差し、地域の未来を考え活性化していく					
	〈求める生徒像〉 ① 積極的にさまざまな活動をしたい生徒 ④ 自分自身と向き合い、夢を実現したい生徒 ② 地域の魅力を学び、滋賀県で働きたい生徒 ⑤ 基礎から探究力を身に着けたい生徒 ③ 自分の進路実現に向けて努力したい生徒 ⑥ 課題研究で地域に貢献できる活動をしたい生徒					
学校独自型選抜	募集枠	50 %				
	自己推薦	募集人数 ・ 出願要件	募集人数：5名【レスリング(男女)】 本校志望の意志が強く、学習および部活動に取り組む意欲が旺盛で、次のa～cのすべての要件を満たす者 a レスリングもしくは柔道に中学3年間取り組んだ者 b 入学後は、レスリング部に入学し、3年間活動する強い意志のある者 c 優れた運動能力・適性をもち、入学後は体育的活動のリーダーとして活躍できる者			
		学校独自検査	面接			
	配点	面接	活動実績報告書	個人調査報告書	学力検査	
		200点	600点		200点	
	中学校長推薦	推薦要件	本校志望の意志が強く、学習意欲が旺盛で、次のa、bのいずれかの要件を満たす者 a 学業成績が総合的に優れている者で、本校での学習を通じ自分の進路を達成しようと強く決意している者 b 体育的活動や文化的活動において、優れた能力や適性をもち、入学後もその分野で力を発揮しようと強く決意している者			
		学校独自検査	面接			
		配点	面接	個人調査報告書	学力検査	
	200点		600点	200点		
	一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科
1			1	1	1	1
配点		学力検査 500点		個人調査報告書 500点		
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 愛知高等学校 〈課程〉 全日制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	1 自ら学び、時代の変化に対応できる能力や向上心を持てる人間の育成 2 教養ある品性の涵養と人権を尊重できる人間の育成 3 心豊かで、たくましく生きる人間の育成 〈求める生徒像〉 ① 自分自身としっかり向き合い、向上心のある生徒 ② 自分からあいさつができ、ルールがきちんと守れる生徒 ③ チャレンジ精神と、失敗を恐れない心を持った生徒 ④ 意思表示ができ、仲間と協力して課題を解決できる生徒 ⑤ 人権を大切にし、常に他者を思いやる生徒 ⑥ 地域とのつながりを大切にし、地域と共に学べる生徒							
学校独自型選抜	募集枠	50 %						
	中学校長推薦	推薦要件	本校への志望の意志が強く、コース制を持つ本校の特色をよく理解し、次のa～cのいずれかの要件を満たす者 a 基本的な生活習慣が身につけており、学校のルールを正しく守れる者 b 高等学校卒業後、大学進学や就職への強い意志と、明確な目的意識を持ち、その目的の達成のために最大限努力できる者 c 中学校において、部活動、生徒会活動、地域交流活動に意欲的に取り組み、入学後もリーダーとして活躍が期待できる者					
		学校独自検査	面接					
	配点	面接 250点	個人調査報告書 500点	学力検査 250点				
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)		国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1	
	配点		学力検査 500点			個人調査報告書 500点		
			〈備考〉 ・特記事項なし					

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津清陵高等学校 昼間部 〈課程〉 定時制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	常に学び続ける意欲を持ち、進んで社会に貢献できる、心豊かな人間を育成する。					
	〈求める生徒像〉 ・単位制である本校の特色を理解し、自ら積極的に学ぶ生徒 ・社会のルールをしっかり守り、社会的自立を目指す生徒 ・一人ひとりの個性を認め、他者と協働しようとする生徒 ・基礎・基本的な学習への意欲を有し、入学後も学び続ける努力をする生徒					
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査			個人調査報告書	
		600点			400点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津清陵高等学校 通信部 〈課程〉 通信制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	常に学び続ける意欲を持ち、進んで社会に貢献できる、心豊かな人間を育成する。					
	〈求める生徒像〉 ・通信制課程(単位制)の特色をよく理解し、自ら積極的に学ぶ意欲を持った生徒 ・就業、アルバイト、趣味などと両立させながら、高校卒業資格を修得したいと考えている生徒 ・社会のルールをしっかり守り、社会的自立を目指す生徒 ・一人ひとりの個性を認め合い、他者を思いやる生徒					
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 —	数学 —	社会 —	理科 —	英語 —
	配点	学力検査			個人調査報告書	
		—			1000点	
〈備考〉 ・面接を実施する。学力検査は実施しない。						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 大津清陵高等学校 夜間部 〈課程〉 定時制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	常に学び続ける意欲を持ち、進んで社会に貢献できる、心豊かな人間を育成する。					
	〈求める生徒像〉 ・単位制である本校の特色を理解し、自ら積極的に学ぶ生徒 ・社会のルールをしっかり守り、社会的自立を目指す生徒 ・一人ひとりの個性を認め、他者と協働しようとする生徒 ・基礎・基本的な学習への意欲を有し、入学後も学び続ける努力をする生徒					
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500点			500点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 瀬田工業高等学校 〈課程〉 定時制 〈学科〉 工業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育む教育を目指します。定時制の利点を活かし、教育の機会を保障します。また、社会に貢献できる資質・能力を育成するとともに、系統的なキャリア教育および職業教育を推進することで進路希望の実現を図り、滋賀の産業を支える人材を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ○工業に興味・関心を持ち、専門的な知識・技術の習得を目指す生徒 ○働きながら学ぶ意欲のある生徒					
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500点			500点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 彦根工業高等学校 〈課程〉 定時制 〈学科〉 工業学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	・自分の未来に希望をもって、自分らしい生き方を見つける力を育てる。 ・自ら行動し、資格取得や技術習得に取り組む力を育てる。 ・挨拶をし、ルールやマナーを守り、思いやりを持って周囲と仲良くする力を育てる。 ・多様な人とコミュニケーションをとれる力を育てる。					
	〈求める生徒像〉 ・基礎から学び直したい生徒 ・人間関係等で自信が持てないことを克服したい生徒 ・働きながら、学ぶことに挑戦したい生徒 ・社会のルールやマナーを守って落ち着いた高校生活を送りたい生徒					
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500点			500点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 長浜北星高等学校 〈課程〉 定時制 〈学科〉 総合学科

スクール・ポリシー (学科の特色)	心豊かでたくましい人間となれるように、生徒自らが選んだ生き方を尊重し、社会に貢献できる生徒を育成します。					
	〈求める生徒像〉 ・人間関係や就労経験を通し、自立することを目指す生徒。 ・人と人の関わり合いを大切にし、集団の中で思いやりの気持ちを持てる生徒。 ・就労している状況にあっても、学び直しや新たな知見を得るための学びを求める生徒。					
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語	数学	社会	理科	英語
		1	1	1	1	1
	配点	学力検査			個人調査報告書	
		500点			500点	
〈備考〉 ・特記事項なし						

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 能登川高等学校 昼間部 〈課程〉 定時制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、県内で唯一の多部制の総合単位制普通科高校で、学ぶ目的やライフスタイルに対応した柔軟な教育活動を展開し、生徒の希望する進路を実現する学校です。目的・目標や向上心を持ち高校生活を前向きに送ろうとする生徒を求めます。					
	〈求める生徒像〉 ・単位制の教育システムを生かして自らが主体的に学びを進め、自身の目標に向かって努力することができる生徒 ・基本的な生活習慣が確立され、高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った生徒 ・ルールを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、様々な立場の人とともに学び、行動できる生徒					
学校独自型選抜	募集枠	30 %				
	中学校長 推薦	推薦要件	次のaの要件を満たす者で、かつb、cのいずれかの要件を満たす者 a 基本的な生活習慣が確立されており、ルールを正しく守る者 b 高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った者 c グローバル社会の一員としての基礎的な資質・能力を身につけて地域や国際社会に貢献しようとする者			
		学校独自検査	集団面接・ディスカッション			
	配点	集団面接・ディスカッション 100点	個人調査報告書 400点	学力検査 500点		
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 600点			個人調査報告書 400点	
		〈備考〉 ・学校独自型選抜の出願者が1名の場合は、個人面接とする。				

高等学校別入学者選抜概要

〈学校名〉 能登川高等学校 夜間部 〈課程〉 定時制 〈学科〉 普通科

スクール・ポリシー (学科の特色)	本校は、県内で唯一の多部制の総合単位制普通科高校で、学ぶ目的やライフスタイルに対応した柔軟な教育活動を展開し、生徒の希望する進路を実現する学校です。目的・目標や向上心を持ち高校生活を前向きに送ろうとする生徒を求めます。					
	〈求める生徒像〉 ・単位制の教育システムを生かして自らが主体的に学びを進め、自身の目標に向かって努力することができる生徒 ・基本的な生活習慣が確立され、高校生活を前向きに送ろうとする強い意志を持った生徒 ・ルールを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、様々な立場の人とともに学び、行動できる生徒					
一般型選抜	学力検査 (教科ごとの配点割合)	国語 1	数学 1	社会 1	理科 1	英語 1
	配点	学力検査 600点			個人調査報告書 400点	
		〈備考〉 ・特記事項なし				